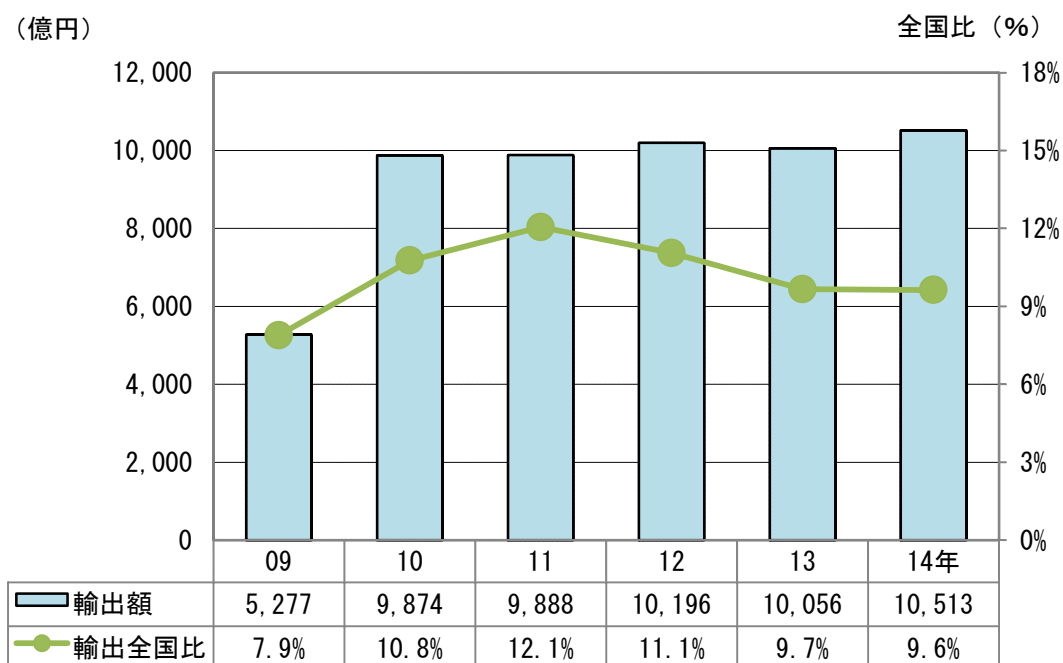


### 第3章 九州の産業別貿易動向

#### 1. 自動車・自動車の部分品

● 2014年の九州の自動車輸出額は1兆513億円（前年比4.5%増）で過去最高。2年ぶりの増加となり、3年連続で輸出額が1兆円を超えた。輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦等となっている。

図表 3-1-1 九州の自動車輸出額の推移



図表 3-1-2 自動車の主な輸出相手国・地域の推移（2009年・2014年）

（単位：億円、%）

2009年	2009年		2014年	2014年	
	金額	構成比		金額	構成比
<b>全国</b>			<b>全国</b>		
米国	22,551	33.7%	米国	36,566	33.5%
オーストラリア	5,200	7.8%	オーストラリア	6,991	6.4%
中国	3,609	5.4%	中国	6,303	5.8%
カナダ	2,857	4.3%	ロシア	5,284	4.8%
サウジアラビア	2,273	3.4%	アラブ首長国連邦	4,728	4.3%
その他	30,443	45.5%	その他	49,321	45.2%
計	66,933	100.0%	計	109,194	100.0%
<b>九州</b>			<b>九州</b>		
米国	1,934	36.6%	中国	3,048	29.0%
中国	1,542	29.2%	米国	2,566	24.4%
カナダ	290	5.5%	アラブ首長国連邦	1,016	9.7%
台湾	153	2.9%	メキシコ	438	4.2%
オーストラリア	147	2.8%	台湾	364	3.5%
その他	1,211	22.9%	その他	3,081	29.3%
計	5,277	100.0%	計	10,513	100.0%

図表 3-1-1~2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

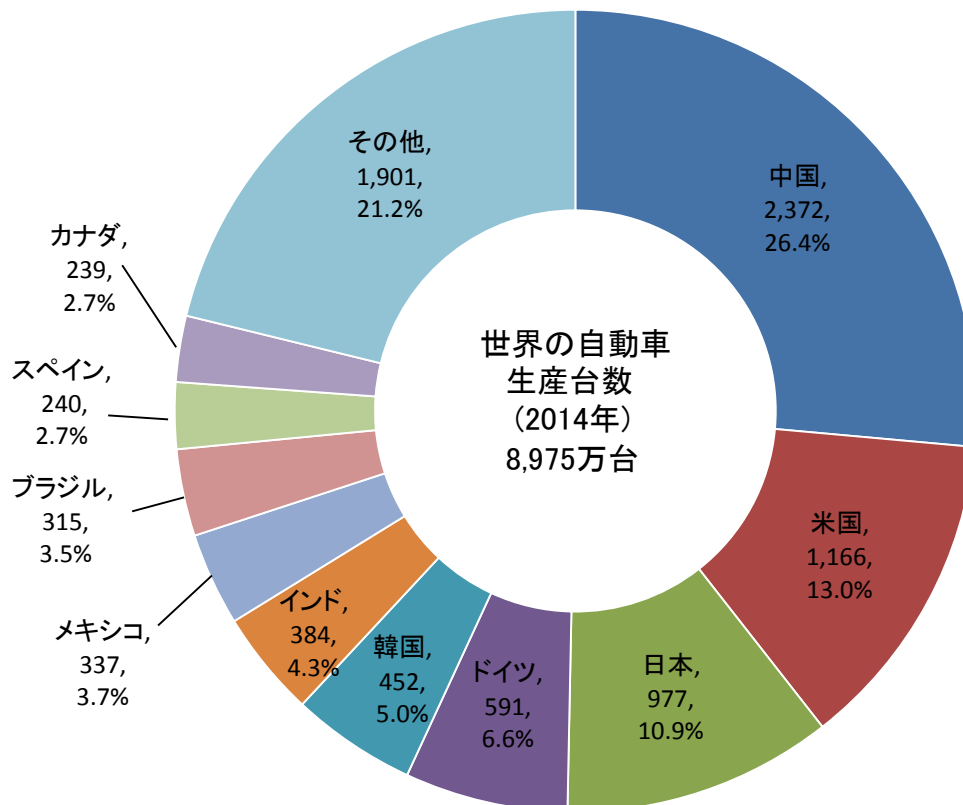
図表 3-1-3 世界の自動車生産台数

(単位：万台、%)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2014年		
							構成比	伸び率	09年比
ヨーロッパ	1,706	1,979	2,095	1,986	1,992	2,038	22.7%	2.3%	19.5%
米州	1,253	163	1,779	2,009	2,113	2,128	23.7%	0.7%	69.8%
アジア大洋州	3,176	4,093	4,058	4,370	4,582	4,737	52.8%	3.4%	49.2%
日本	793	963	840	994	963	977	10.9%	1.5%	23.2%
九州	86	114	119	146	134	130	1.4%	-3.3%	51.8%
中国	1,379	1,826	1,842	1,927	2,212	2,372	26.4%	7.3%	72.0%
韓国	351	427	466	456	452	452	5.0%	0.1%	28.8%
インド	264	356	393	417	390	384	4.3%	-1.5%	45.4%
タイ	100	164	146	243	246	188	2.1%	-23.5%	88.1%
その他	288	356	372	332	319	363	4.0%	13.7%	26.0%
アフリカ	41	52	56	59	64	71	0.8%	11.3%	71.3%
世界計	6,176	7,758	7,988	8,424	8,751	8,975	100.0%	2.6%	45.3%

図表 3-1-4 世界の自動車生産台数の国・地域別構成比

(単位：万台、%)

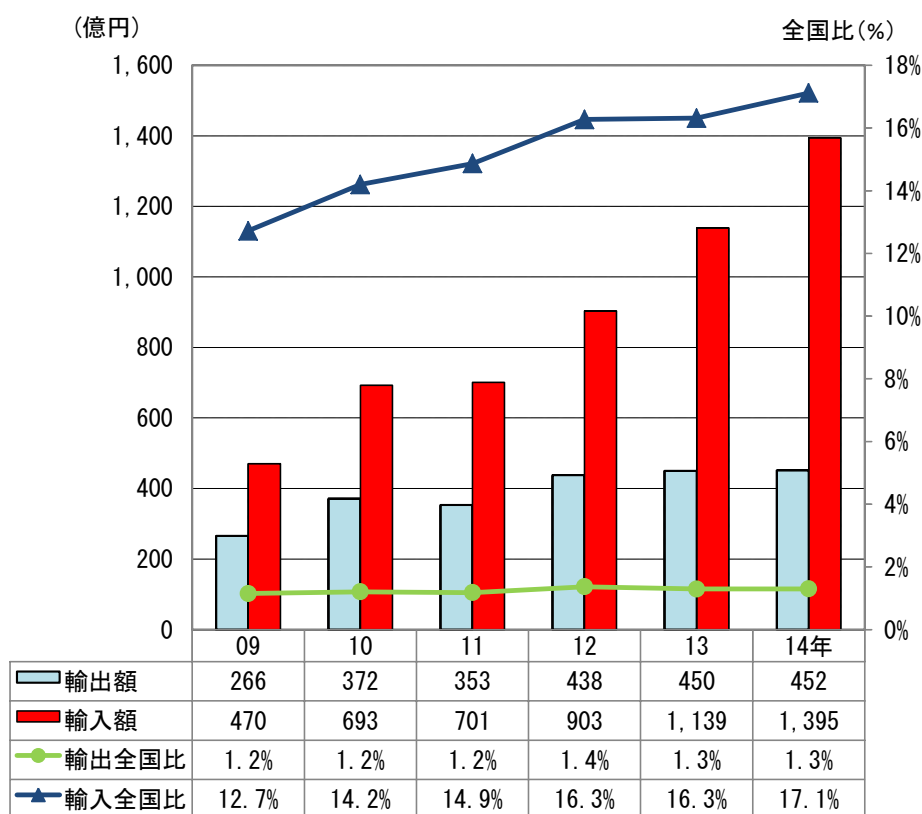


3-1-3~4 出所：国際自動車工業連合会HP、九州経済産業局資料より九州経済産業局作成。

● 2014年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が452億円（前年比0.4%増）、輸入が1,395億円（前年比22.5%増）で、輸入が前年より大幅に伸長。輸出入ともに過去最高だった。輸出先は米国が最も多く、次いでロシア、中国等となっている。輸入元については、中国が最も多く、次いで韓国、タイ等となっている。

● 輸出については、ASEAN 地域向けは好調だったものの、ロシア向けは低調だった。輸入については、中国からが増加するなどして前年を大きく上回った。

図表 3-1-5 九州の自動車の部分品貿易額の推移



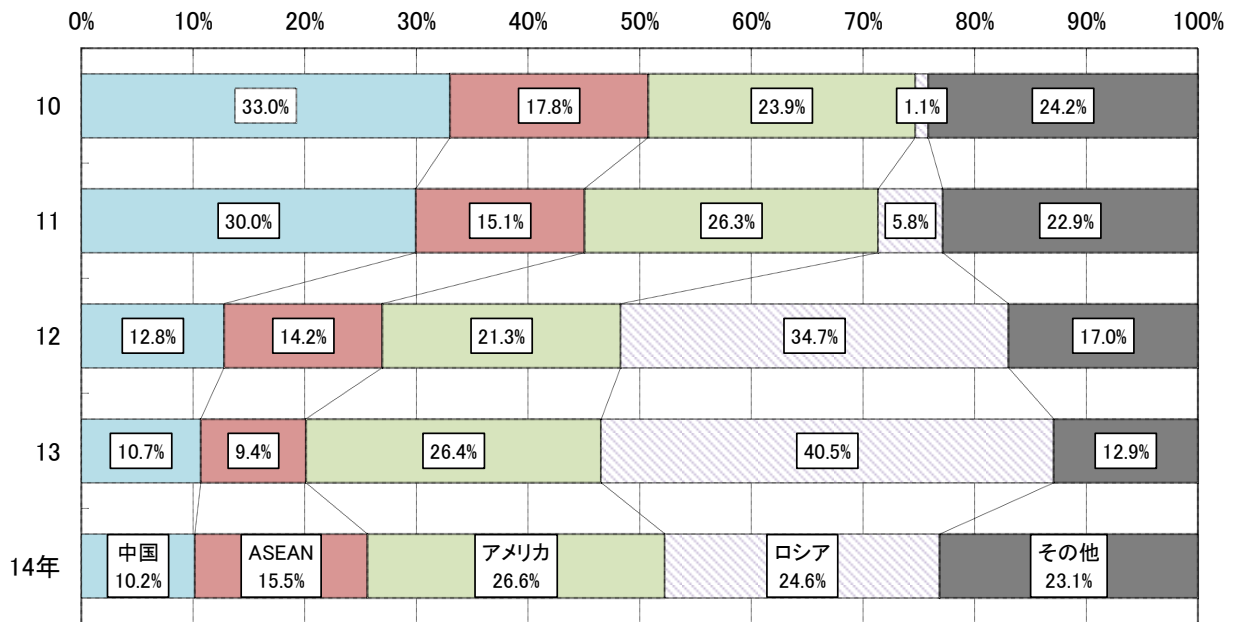
図表 3-1-6 自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域（2014年）

（単位：億円、%）

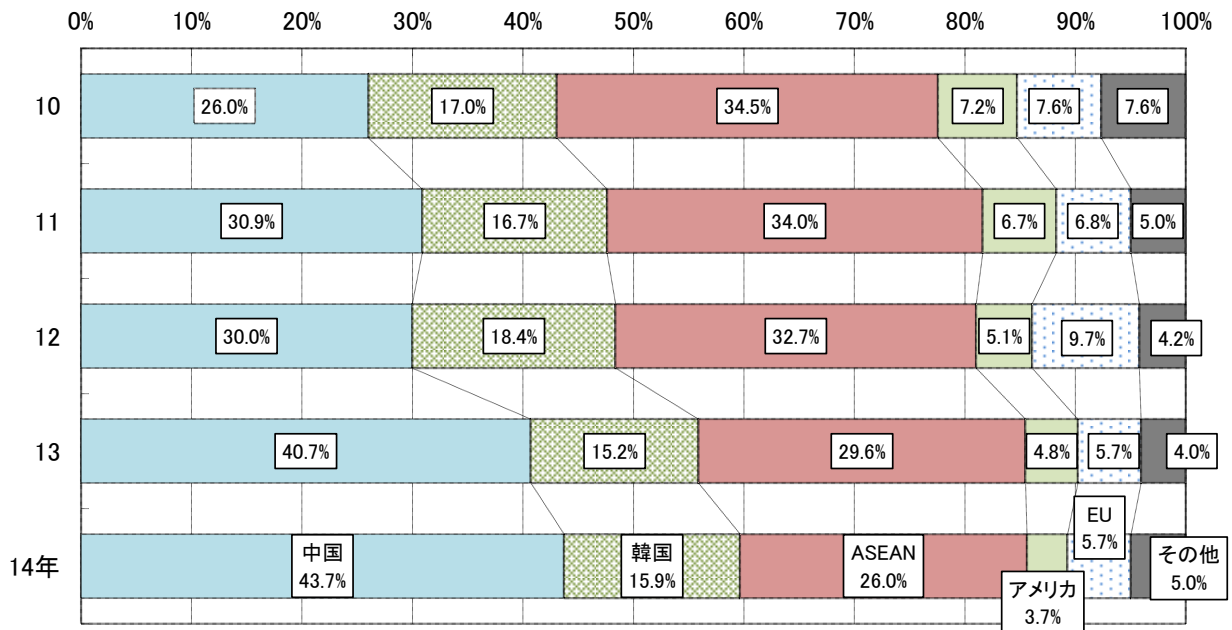
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
<b>全国</b>			<b>全国</b>		
米国	8,815	25.4%	中国	3,037	37.3%
中国	7,162	20.6%	ドイツ	798	9.8%
タイ	2,656	7.6%	韓国	765	9.4%
メキシコ	1,752	5.0%	タイ	747	9.2%
カナダ	1,697	4.9%	米国	537	6.6%
その他	12,668	36.5%	その他	2,263	27.8%
計	34,750	100.0%	計	8,148	100.0%
<b>九州</b>			<b>九州</b>		
米国	120	26.6%	中国	610	43.7%
ロシア	111	24.6%	韓国	222	15.9%
中国	46	10.2%	タイ	215	15.4%
カナダ	33	7.3%	フィリピン	57	4.1%
インドネシア	24	5.3%	インドネシア	55	4.0%
その他	117	26.0%	その他	236	16.9%
計	452	100.0%	計	1,395	100.0%

図表 3-1-5～6 出所：財務省「貿易統計」、門司税関の提供データより九州経済産業局作成。

図表 3-1-7 九州の自動車の部分品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-1-8 九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移



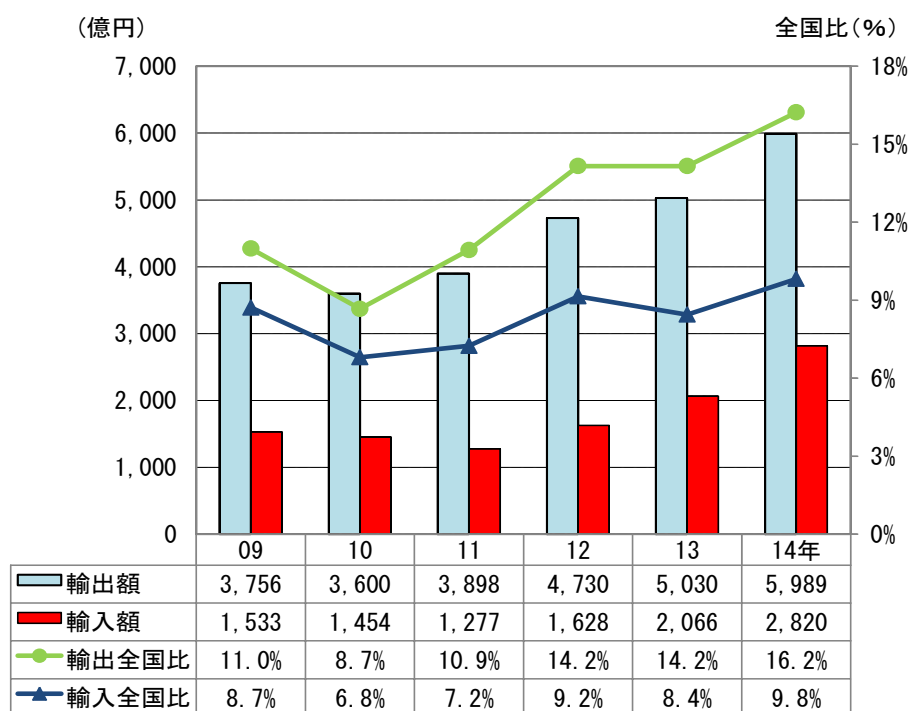
図表 3-1-7~8 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

## 2. 半導体等電子部品

● 2014年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が5,989億円（前年比19.1%増）、輸入が2,820億円（前年比36.5%増）で、輸出入ともに前年より大幅に伸長。輸出先は韓国が最も多く、次いで中国、香港等となっている。輸入元については、中国が最も多く、次いで台湾、韓国等となっている。

● 輸出については、香港向けが大幅に伸びたほか、ASEAN 向けも好調だったものの、中国向けは低調だった。輸入については、中国及び台湾からが大幅に伸びたものの、韓国からは減少した。

図表 3-2-1 九州の半導体等電子部品貿易額の推移



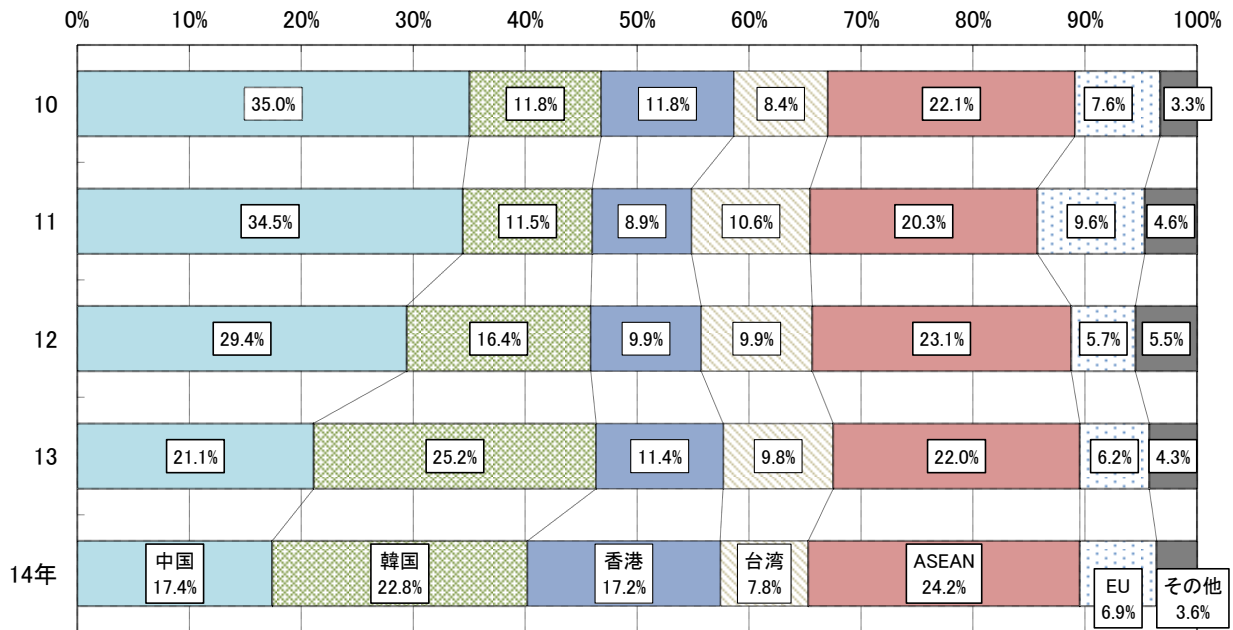
図表 3-2-2 半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域（2014年）

（単位：億円、%）

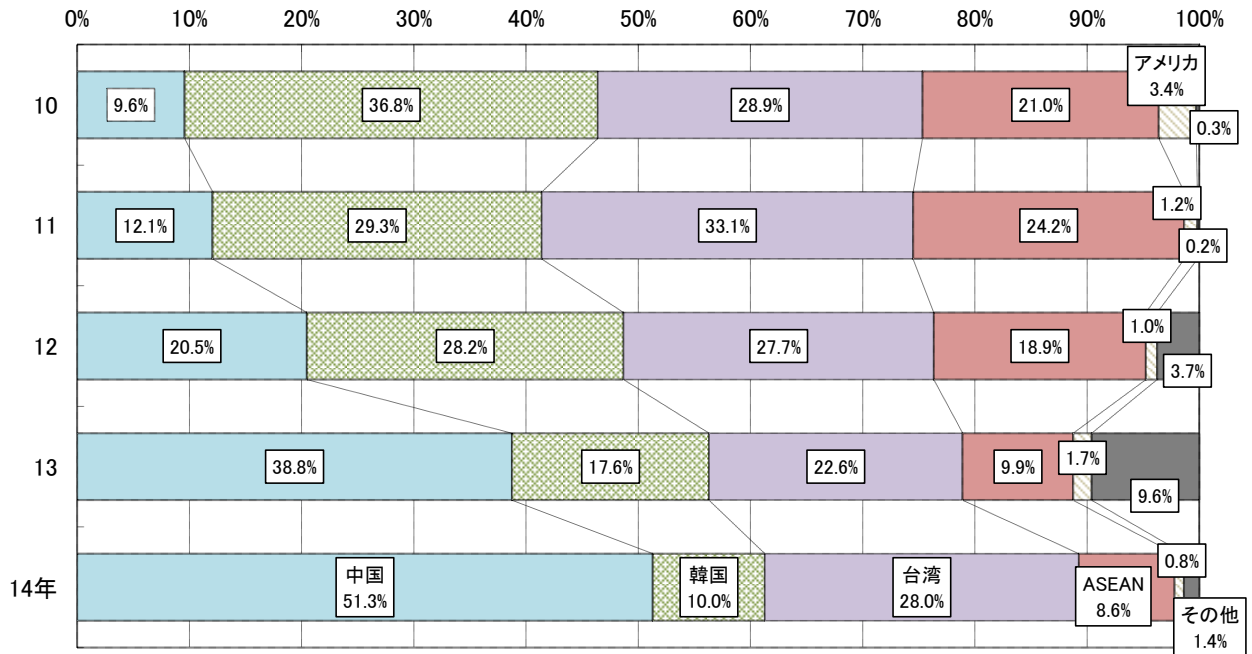
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
<b>全国</b>			<b>全国</b>		
中国	9,954	27.0%	台湾	9,177	32.0%
香港	5,368	14.5%	中国	7,535	26.2%
台湾	5,118	13.9%	米国	2,899	10.1%
韓国	2,698	7.3%	韓国	2,579	9.0%
米国	2,661	7.2%	マレーシア	1,368	4.8%
その他	11,108	30.1%	その他	5,152	17.9%
計	36,908	100.0%	計	28,710	100.0%
<b>九州</b>			<b>九州</b>		
韓国	1,365	22.8%	中国	1,447	51.3%
中国	1,043	17.4%	台湾	789	28.0%
香港	1,032	17.2%	韓国	281	10.0%
ベトナム	540	9.0%	フィリピン	109	3.9%
台湾	470	7.8%	タイ	42	1.5%
その他	1,539	25.7%	その他	152	5.4%
計	5,989	100.0%	計	2,820	100.0%

図表 3-2-1～2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-2-3 九州の半導体等電子部品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-2-4 九州の半導体等電子部品の輸入相手国・地域の推移



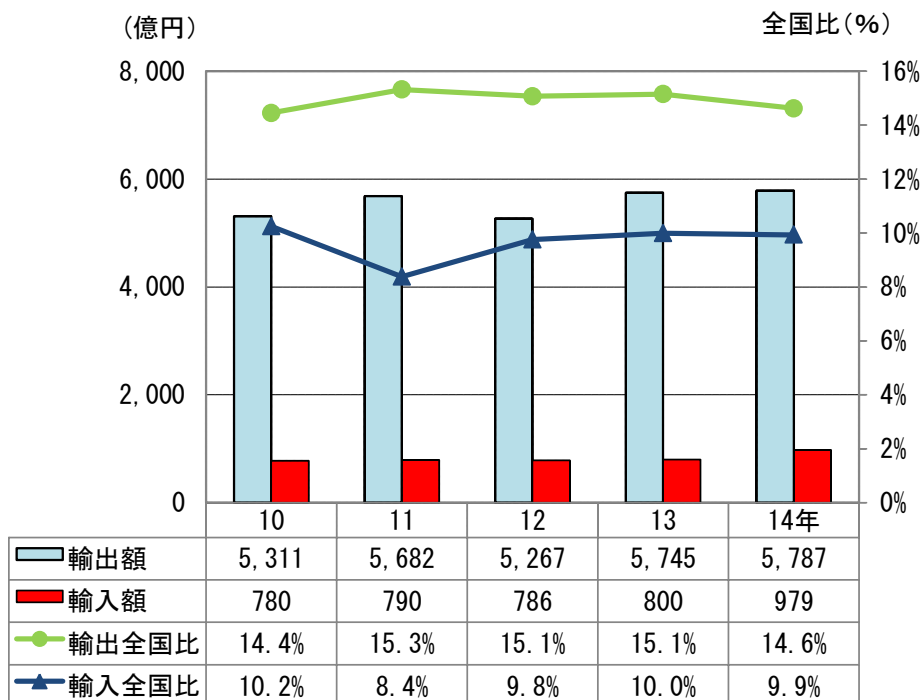
図表 3-2-3~4 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

### 3. 鉄鋼

● 2014年の九州の鉄鋼貿易額は、輸出が5,787億円（前年比0.7%増）、輸入が979億円（前年比22.4%増）で、輸出入ともに前年より増加。また、輸出先はタイがトップで、次いで韓国、中国等の順、輸入元では韓国がトップで、次いで中国、南アフリカ共和国等となっている。

● 輸出については、タイや米国、メキシコ向け等が好調だったものの韓国、中国向けは不調だった。輸入については、韓国、中国、カザフスタン等からが増加した。

図表 3-3-1 九州の鉄鋼貿易額の推移



図表 3-3-2 鉄鋼の主な輸出入相手国・地域（2014年）

（単位：億円、%）

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
<b>全国</b>			<b>全国</b>		
中国	6,156	15.6%	韓国	3,345	33.9%
韓国	6,151	15.5%	中国	2,285	23.2%
タイ	4,848	12.2%	台湾	839	8.5%
米国	2,996	7.6%	カザフスタン	621	6.3%
台湾	2,561	6.5%	南アフリカ共和国	509	5.2%
その他	16,872	42.6%	その他	2,260	22.9%
計	39,584	100.0%	計	9,859	100.0%
<b>九州</b>			<b>九州</b>		
タイ	943	16.3%	韓国	363	37.1%
韓国	926	16.0%	中国	152	15.6%
中国	791	13.7%	南アフリカ共和国	115	11.8%
米国	389	6.7%	カザフスタン	91	9.3%
メキシコ	258	4.5%	ロシア	68	6.9%
その他	2,481	42.9%	その他	189	19.3%
計	5,787	100.0%	計	979	100.0%

図表 3-3-1～2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-3-3 主要国の粗鋼生産量

(単位：百万トン、%)

	2011年	2012年	2013年	2014年	構成比
E U	178	169	166	169	10.3%
ロシア	69	70	69	71	4.4%
アメリカ	86	89	87	88	5.4%
日本	108	107	111	111	6.8%
うち九州	16	16	17	16	1.0%
中国	702	717	815	823	50.3%
韓国	69	69	66	72	4.4%
台湾	20	21	22	23	1.4%
ブラジル	35	35	34	34	2.1%
その他	271	284	272	246	15.1%
世界計	1,537	1,559	1,642	1,637	100.0%

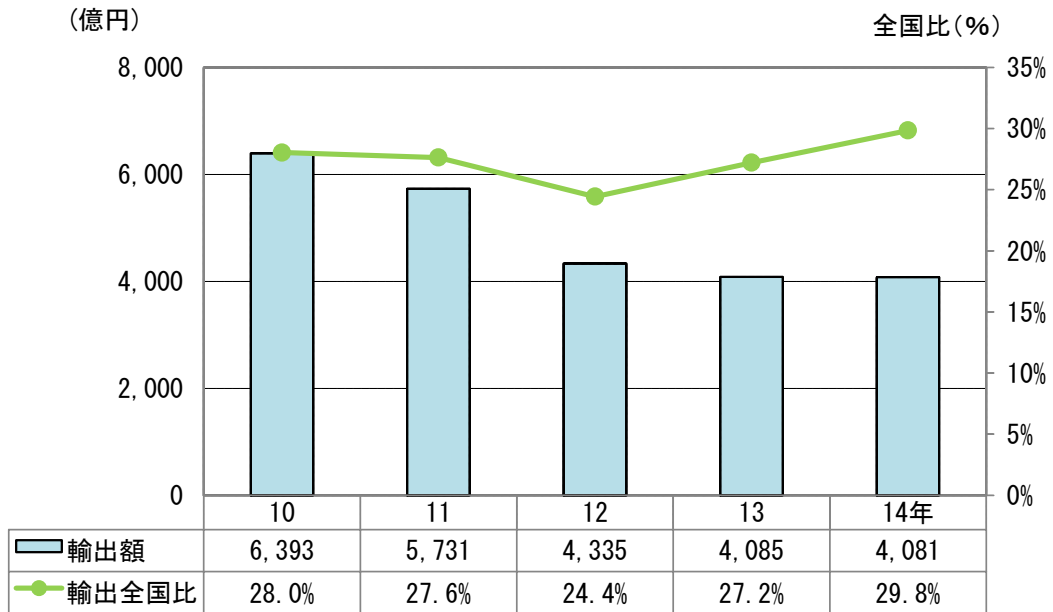
出所：（一社）日本鉄鋼連盟資料より九州経済産業局作成。



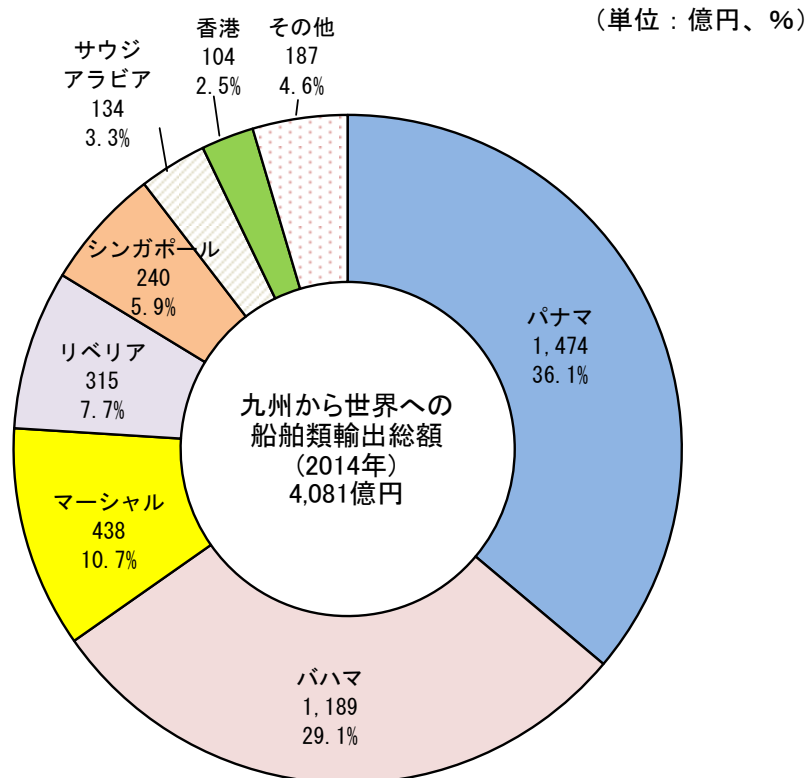
#### 4. 船舶類

- 2014年の九州の船舶類輸出額は4,081億円（前年比0.1%減）で、4年連続の減少。輸出先はパナマが最も多く、次いでバハマ、マーシャル等となっている。
- 船舶類については、九州の輸出額が全国の3割を占めており、また、竣工量においても世界全体の6.5%強(2013年値)を占めるなど、九州の主力輸出品目の一つとなっている。

図表 3-4-1 九州の船舶類の輸出額推移



図表 3-4-2 九州の船舶類の輸出相手国・地域



図表 3-4-1~2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-4-3 世界の主要造船国の竣工量の推移

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア
日 本	18,972	24.6%	20,218	21.0%	19,367	19.0%	17,426	18.2%	14,588	20.7%	13,421	20.8%
うち九州	5,440	7.1%	5,237	5.4%	5,500	5.4%	4,536	4.7%	4,604	6.5%	-	-
韓 国	28,849	37.4%	31,698	32.9%	35,850	35.2%	31,583	33.0%	24,504	34.8%	22,455	34.8%
中 国	21,969	28.5%	36,437	37.8%	39,609	38.9%	39,003	40.8%	25,903	36.8%	22,682	35.2%
フィリピン	572	0.7%	1,161	1.2%	1,661	1.6%	2,506	2.6%	1,331	1.9%	1,878	2.9%
ルーマニア	720	0.9%	613	0.6%	652	0.6%	437	0.5%	504	0.7%	326	0.5%
ベトナム	351	0.5%	560	0.6%	659	0.6%	884	0.9%	542	0.8%	375	0.6%
そ の 他	5,640	7.3%	5,746	6.0%	4,047	4.0%	3,736	3.9%	3,108	4.4%	3,305	5.1%
世界計	77,073	100.0%	96,433	100.0%	101,845	100.0%	95,575	100.0%	70,480	100.0%	64,442	100.0%

備考：九州の数値は、年度の鋼船船舶造船実績。

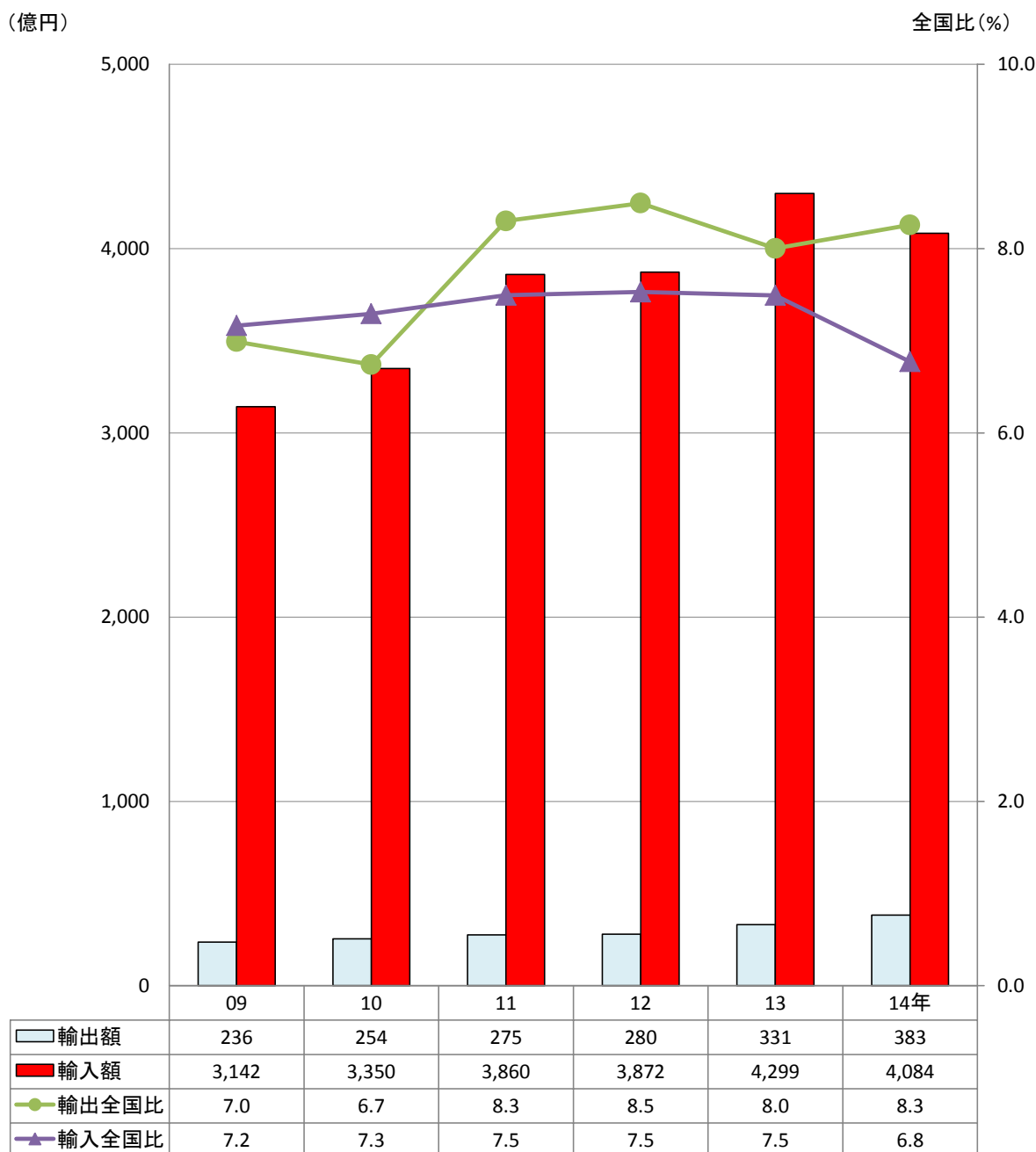
出所：（一社）日本造船工業会資料、九州運輸局資料より九州経済産業局作成。

## 5. 食料品

● 2014年の九州の食料品貿易額は、輸出が383億円（前年比15.7%増）、輸入が4,084億円（前年比5.0%減）で、輸出は前年を大きく上回った。貿易収支については、大幅な輸入超過が続いている。

● 輸出はアジアや北米向けが多く、品目としては魚介類が過半を占めている。輸入はアジアや北米のほかに、中南米や大洋州などより多様な国々との取引となっており、品目としては穀物類と魚介類が多い。

図表 3-5-1 九州の食料品貿易額の推移

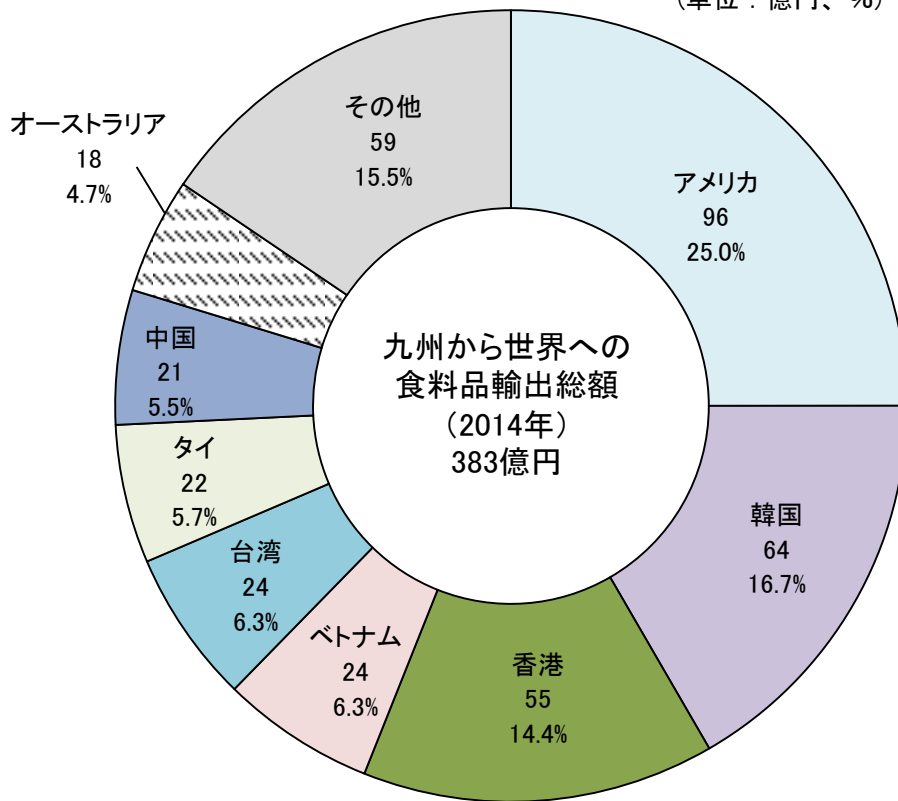


備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したもののから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

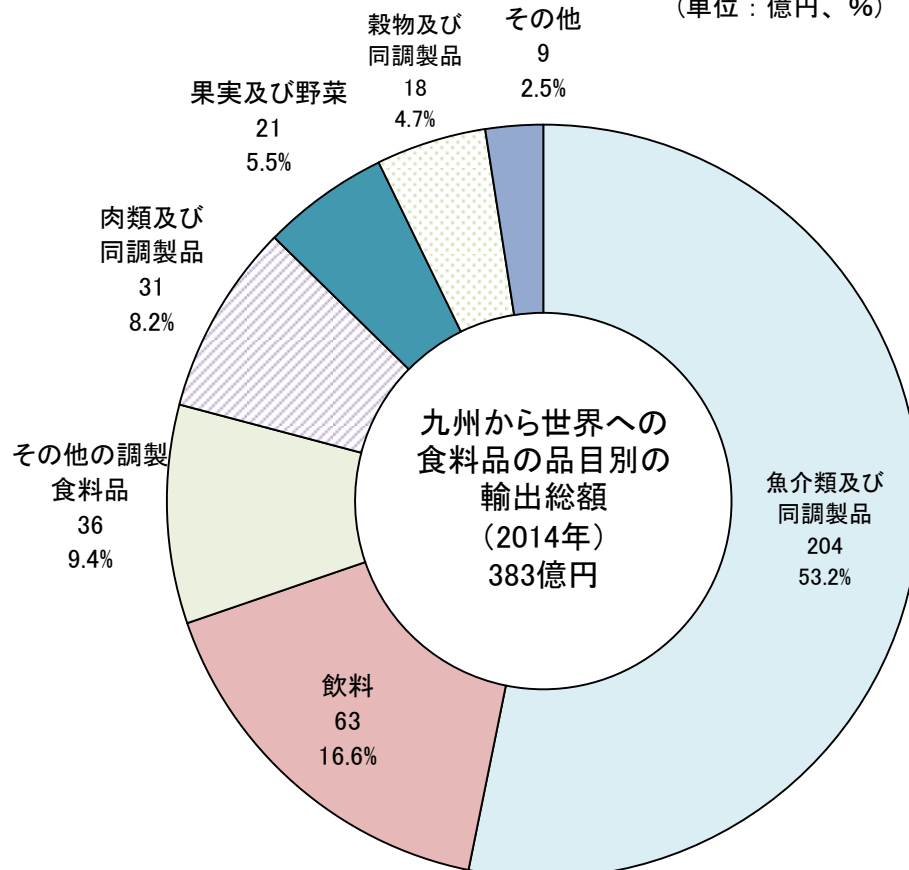
図表 3-5-2 九州の食料品の国・地域別輸出額

(単位：億円、%)



図表 3-5-3 九州の食料品の品目別輸出額

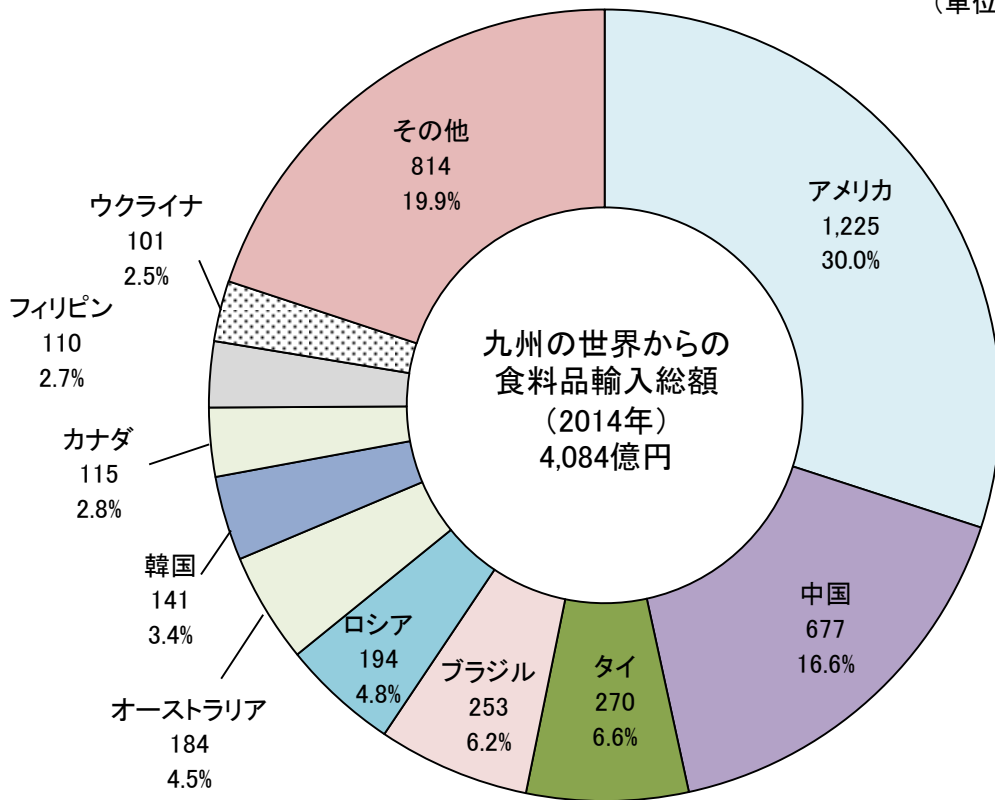
(単位：億円、%)



図表 3-5-2~3 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

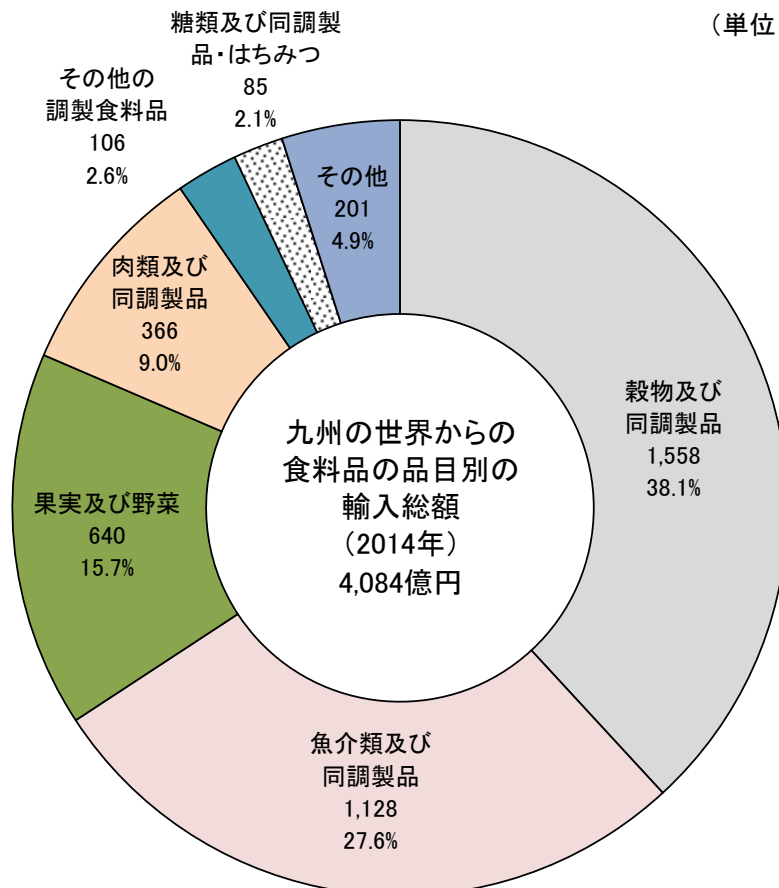
図表 3-5-4 九州の食料品の国・地域別輸入額

(単位：億円、%)



図表 3-5-5 九州の食料品の品目別輸入額

(単位：億円、%)



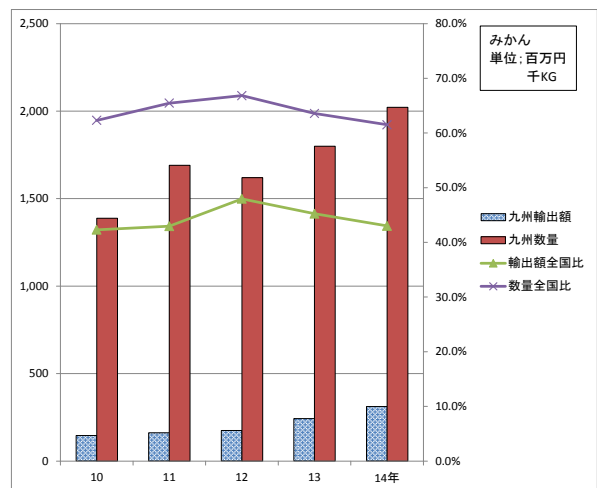
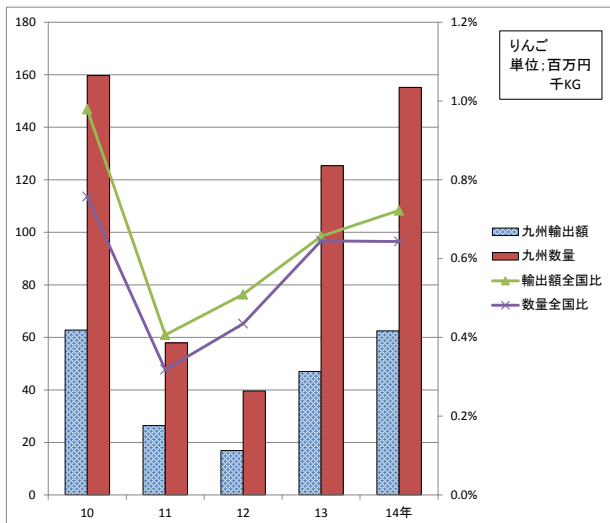
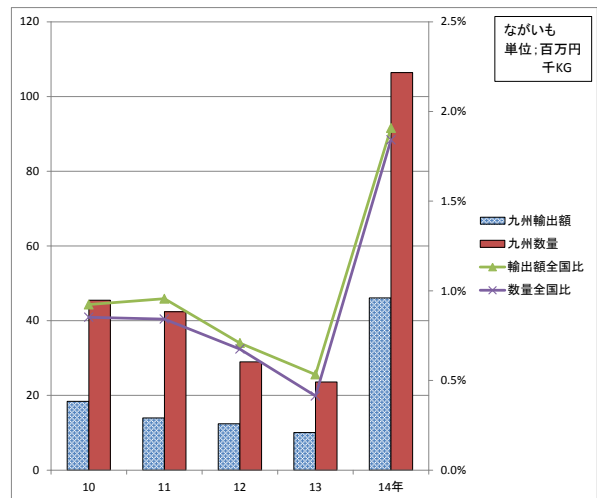
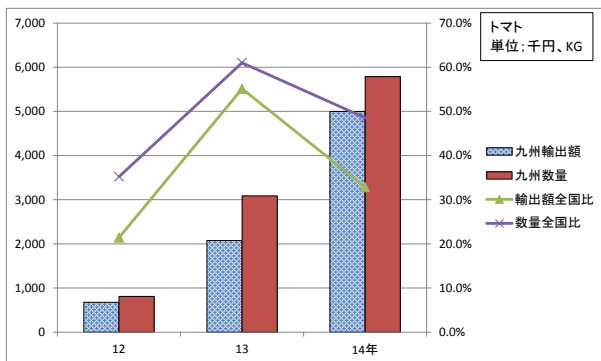
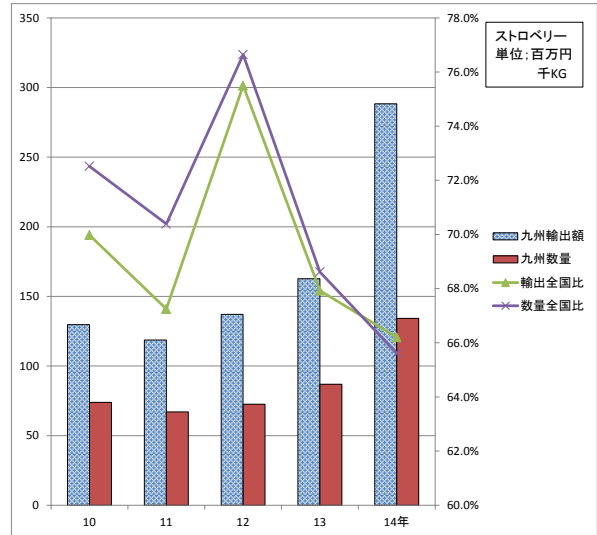
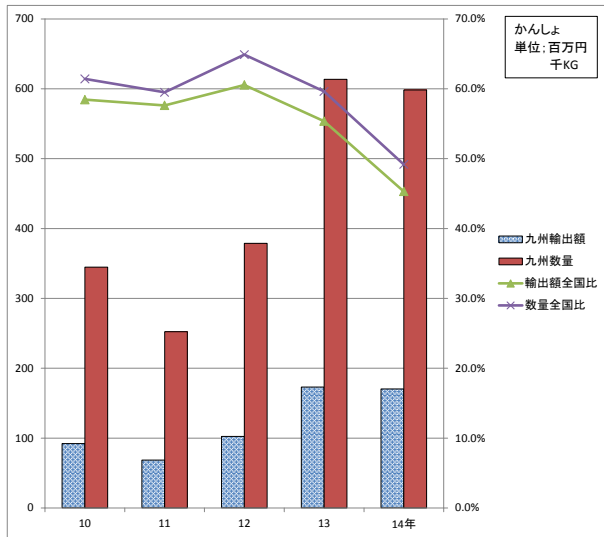
図表 3-5-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

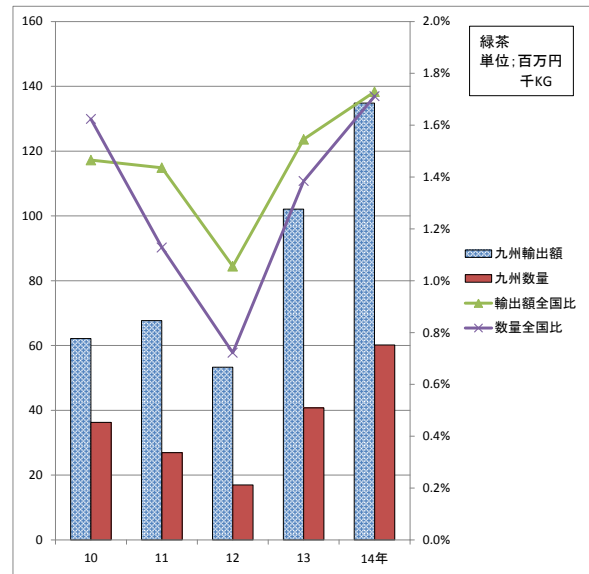
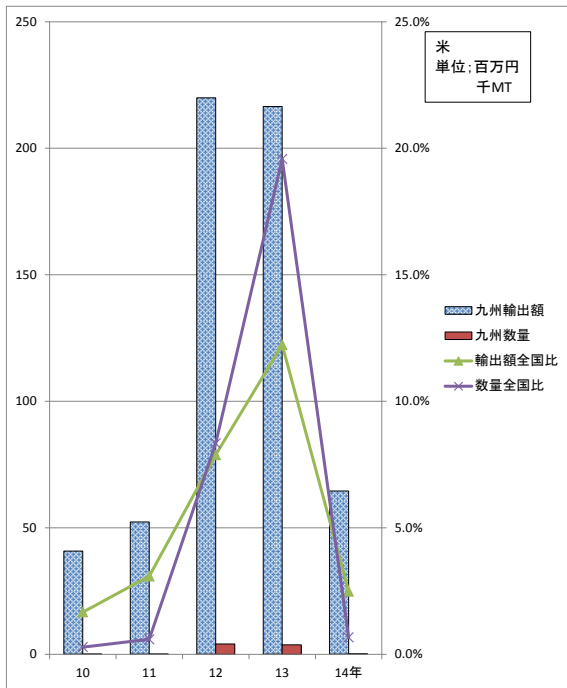
## 6. 農林水産物及び加工品

●近年、各種農林水産物の輸出額及び輸出数量が伸びており、さまざまな国に輸出されている。主要な農林水産物について、貿易の動向は以下のとおり。

図表 3-6-1 九州の主要な農林水産物の貿易額・数量推移

### ① 野菜・果物等





### 参考

野菜等の輸出に際し、最も重要な貯蔵条件は、品目によりそれぞれ異なっており、水分の多い野菜は貯蔵日数が短く、根菜類は長い傾向にある。

#### 野菜の貯蔵限界(目安)

品目	貯蔵最適温度(°C)	貯蔵限界(目安)
サツマイモ	13~15	4~7月
イチゴ	0	7~10日
トマト(完熟)	8~10	1~3週間
トマト(緑熟)	10~13	2~5週間
ヤマイモ(ナガイモ)	2~5	2~3週間

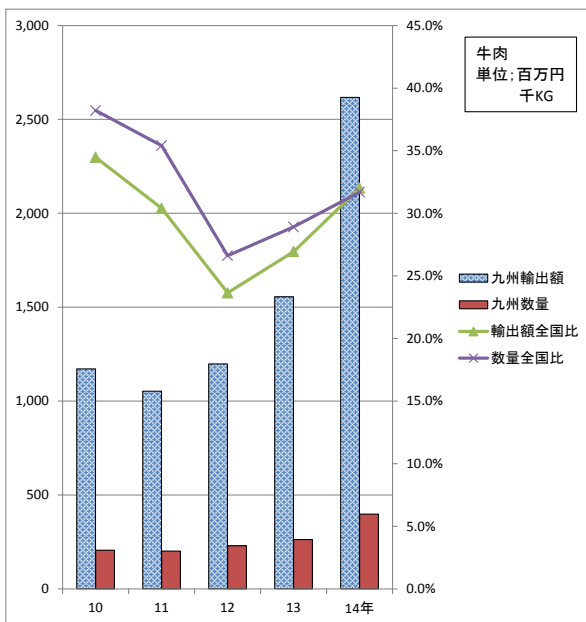
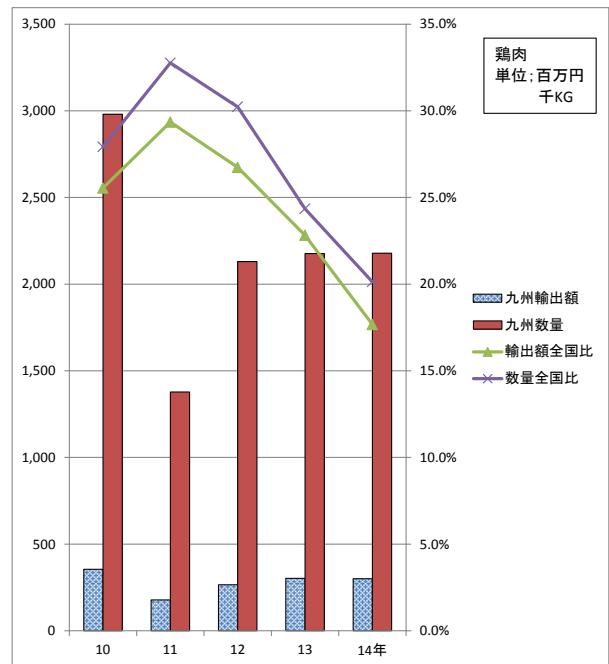
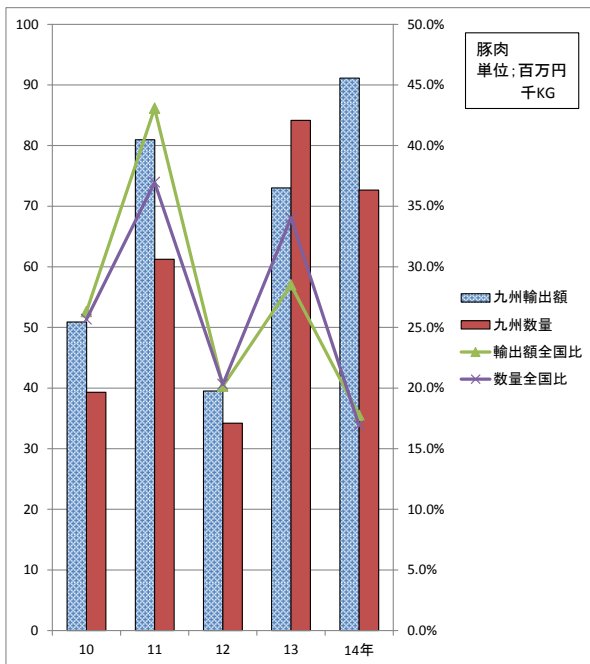
出所: (独)農研機構・野菜茶業研究所「野菜の最適貯蔵条件」を参考に作成。

海外への生鮮食料品等の流通においては、生産段階から消費段階まで低温に保ちながら流通されるしくみ「コールドチェーン」の整備が進められている。

○全国比が高い野菜・果物等は、ストロベリー、かんしょ、みかん、トマトで、輸出額の高いものは、みかん、ストロベリー、かんしょ等である。

○緑茶、ストロベリー、トマト、ながいも、みかん等は輸出額が増加傾向にある。

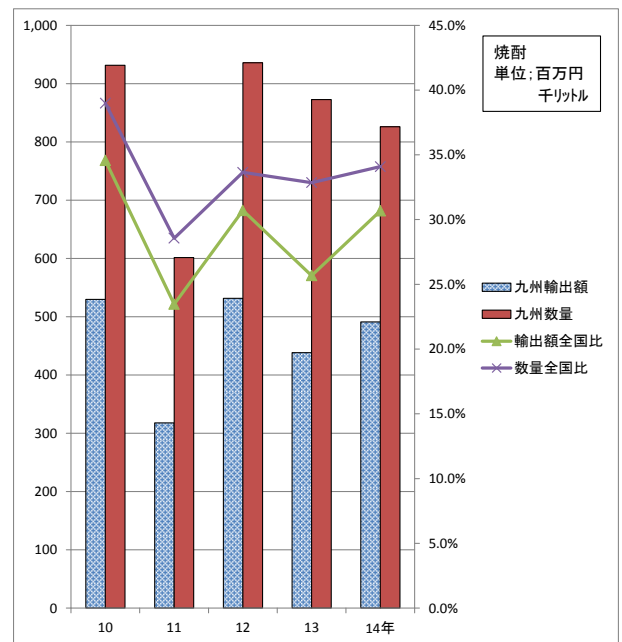
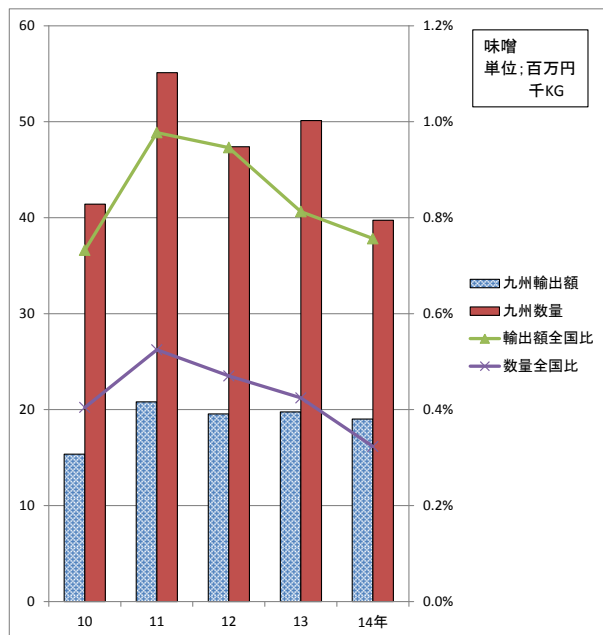
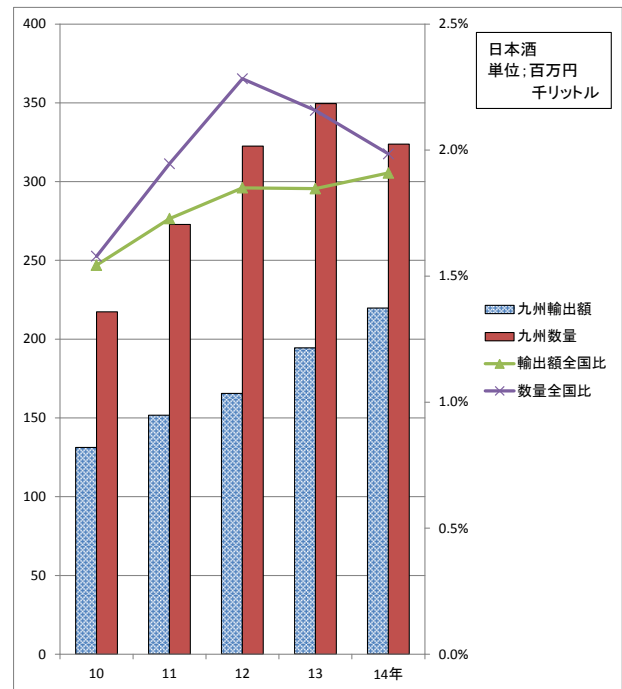
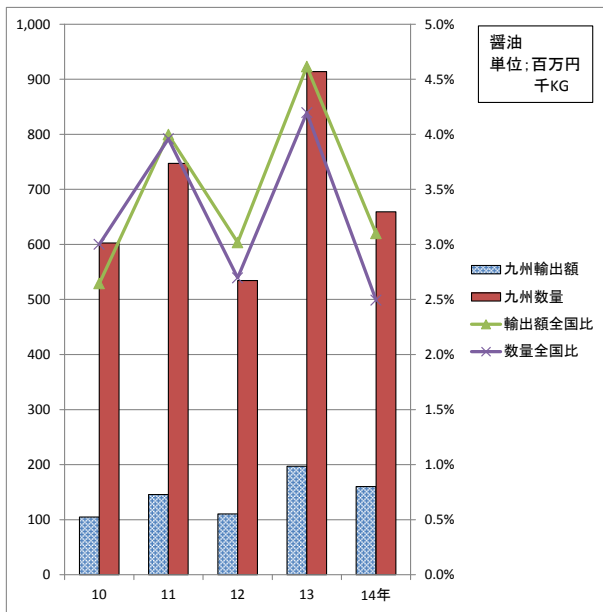
## ② 肉類



○全国比が高い肉類は、牛肉、豚肉で、輸出額の高いものは、牛肉、鶏肉である。  
○牛肉、豚肉、鶏肉は輸出額が増加傾向にある。

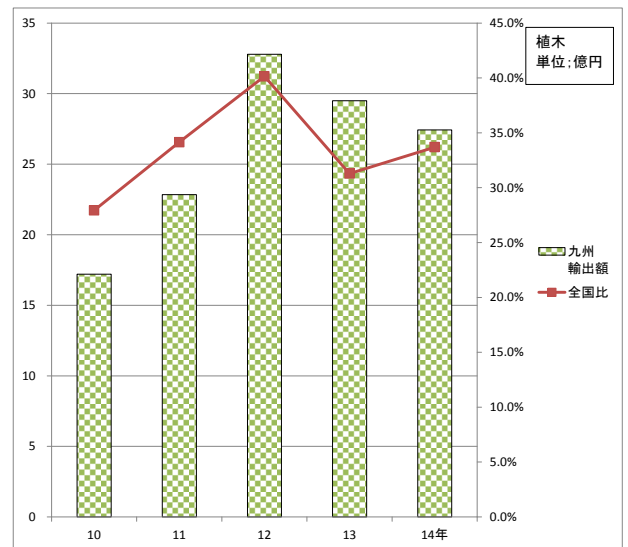
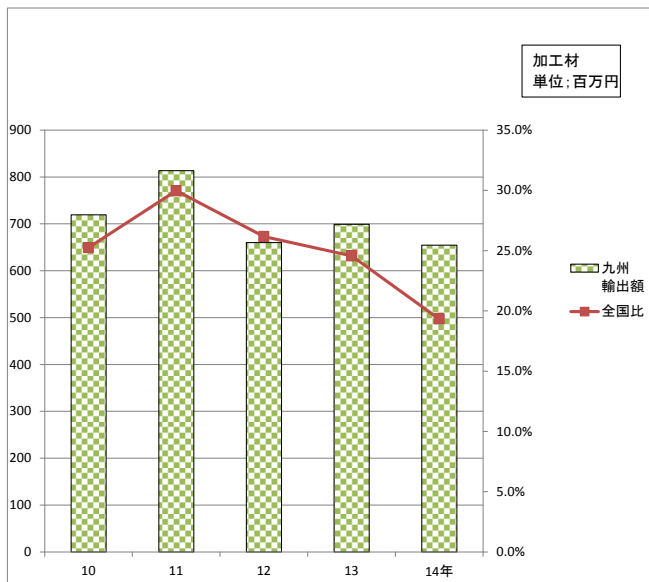
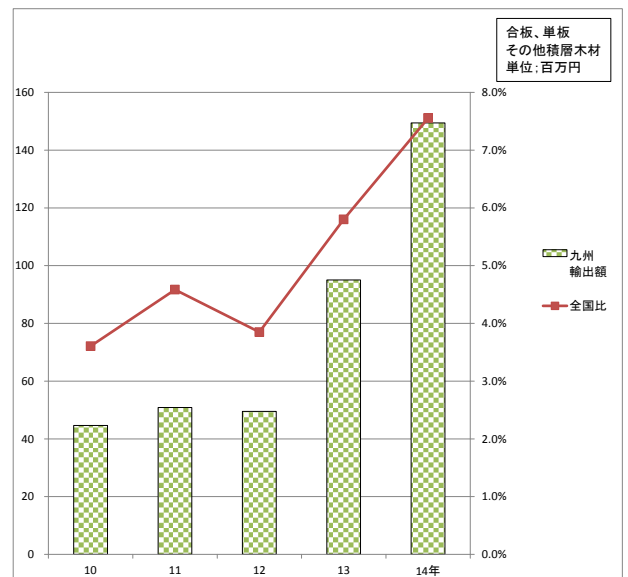
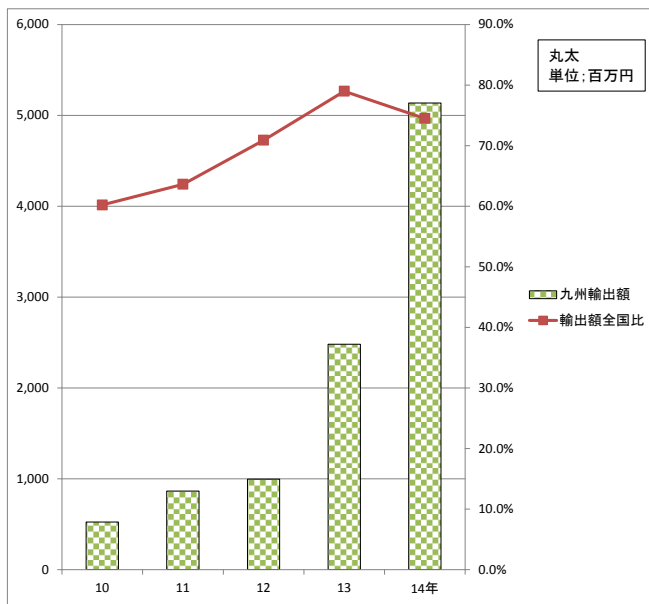


### ③ 発酵食品、酒類



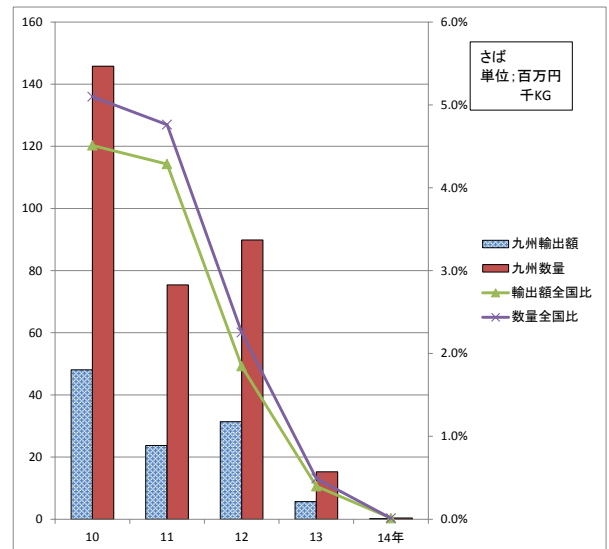
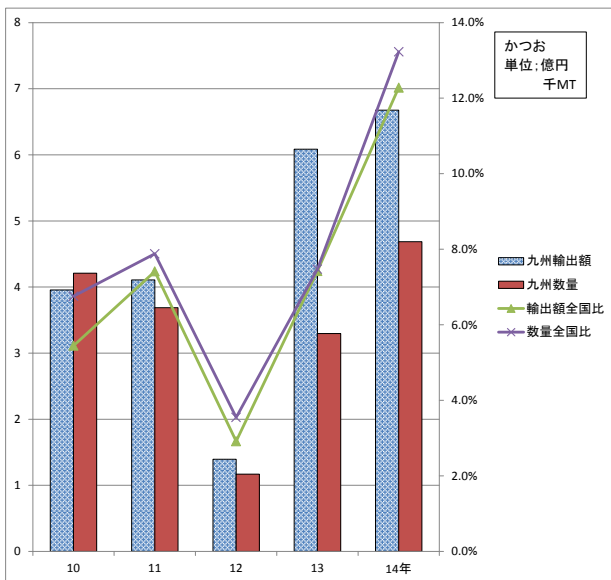
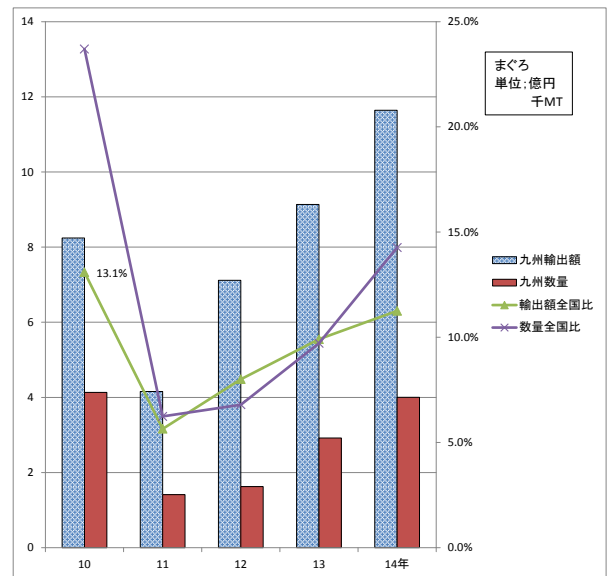
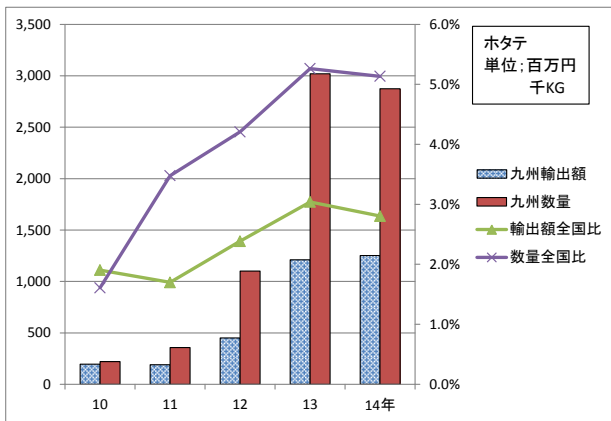
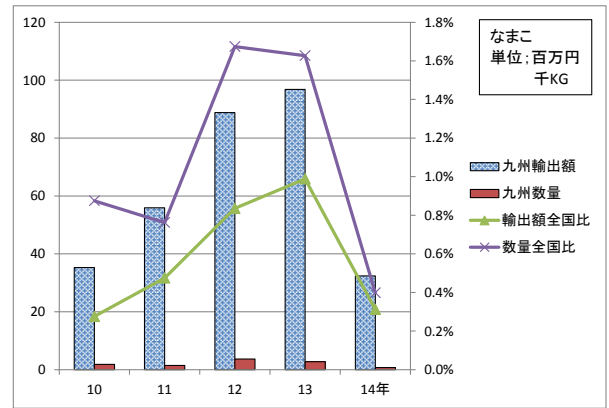
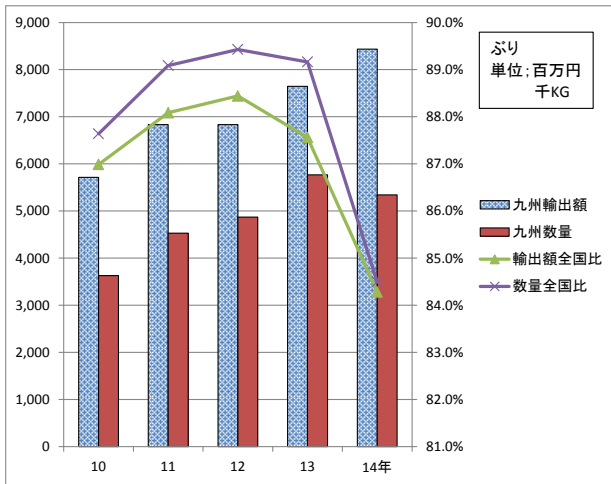
○全国比が高い発酵食品、酒類は、焼酎で、輸出額の高いものは、焼酎、日本酒である。  
○日本酒、焼酎は輸出額が増加傾向にある。

#### ④ 林産物



- 全国比が高い林産物は、丸太で、輸出額の高いものは、丸太、加工材である。
- 丸太、合板等は輸出額が増加傾向にある。

## ⑤ 魚介類

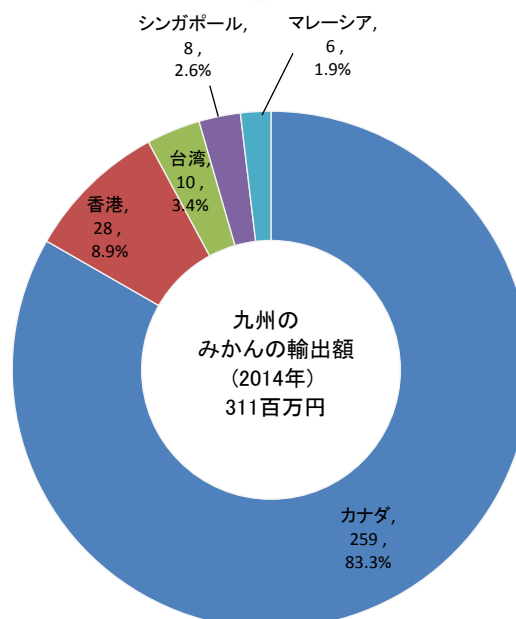
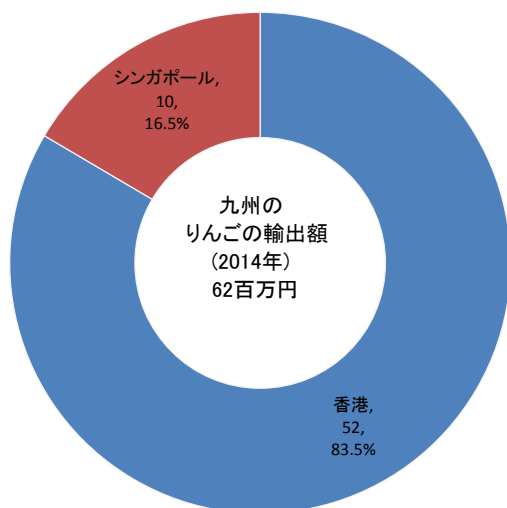
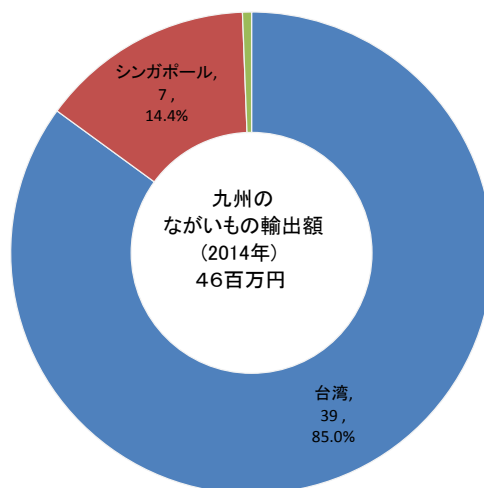
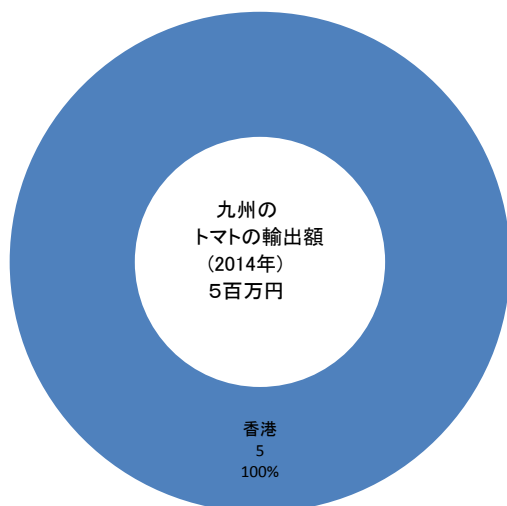
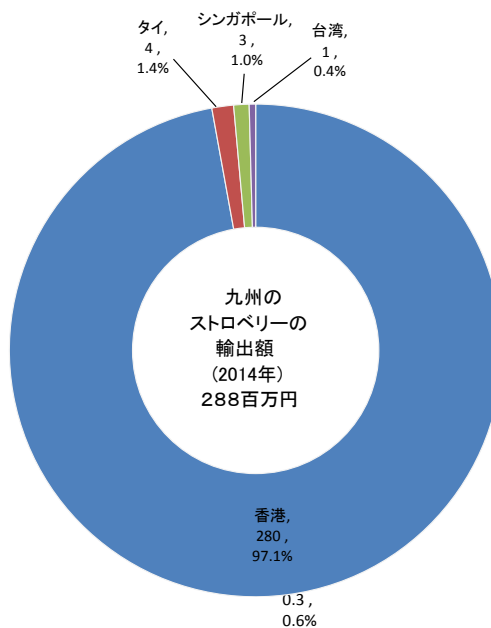
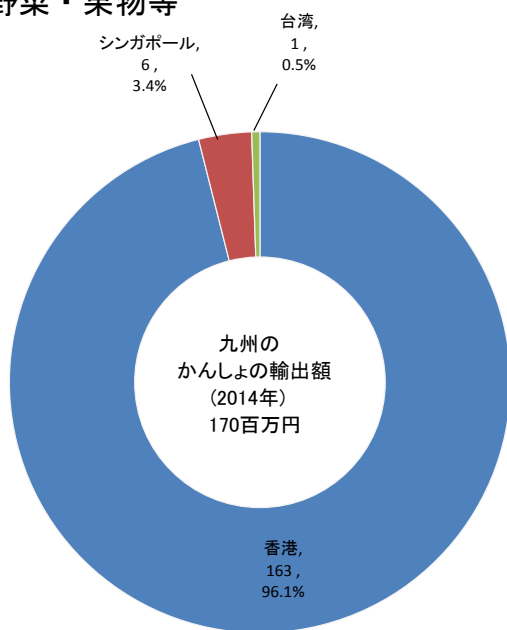


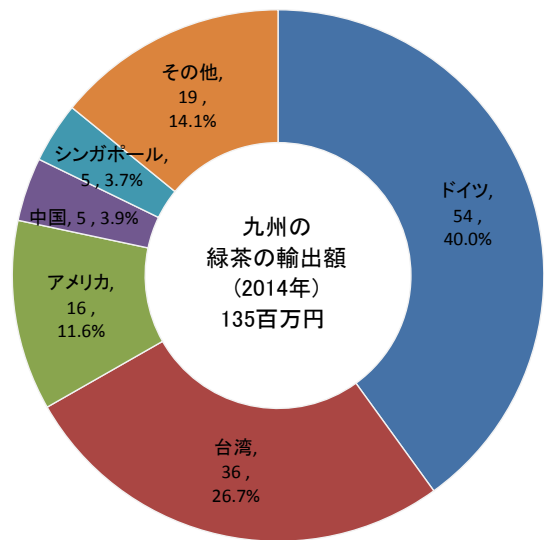
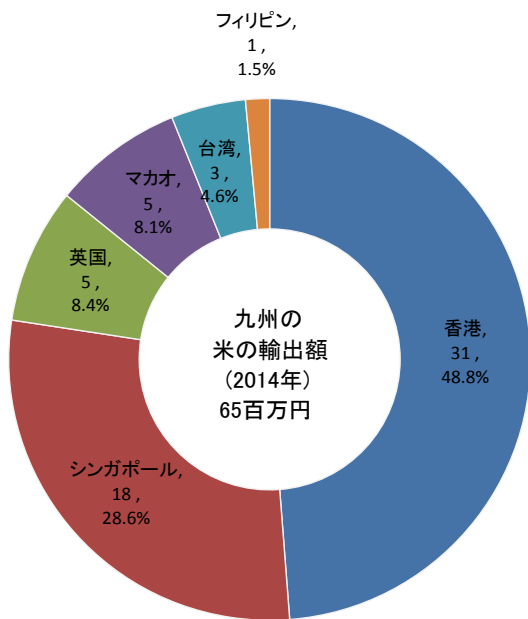
○全国比が高い魚介類は、ぶり、まぐろ、かつお等で、輸出額の高いものは、かつお、ぶりである。

○ぶり、まぐろ、かつお等は輸出額が増加傾向にある。

図表 3-6-2 九州の主要な農林水産物の輸出先

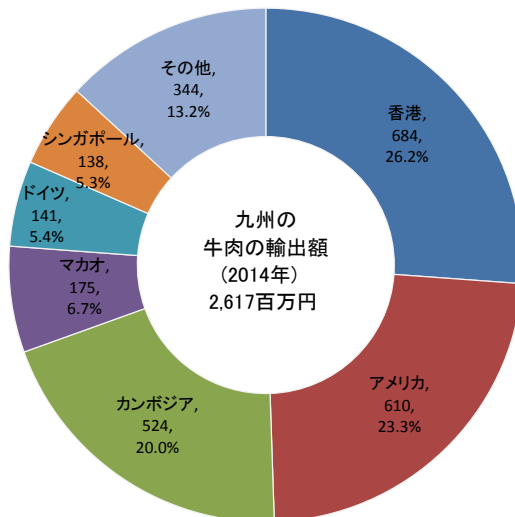
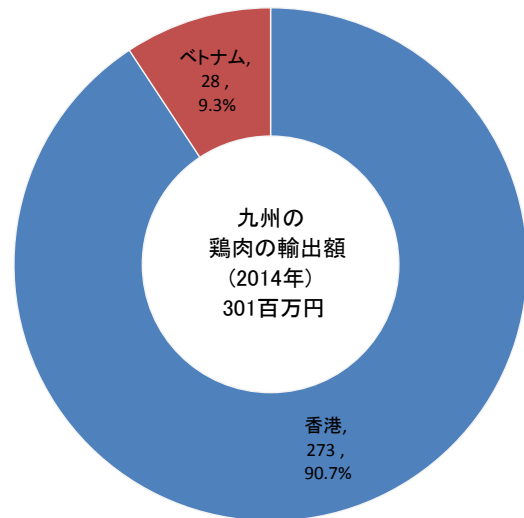
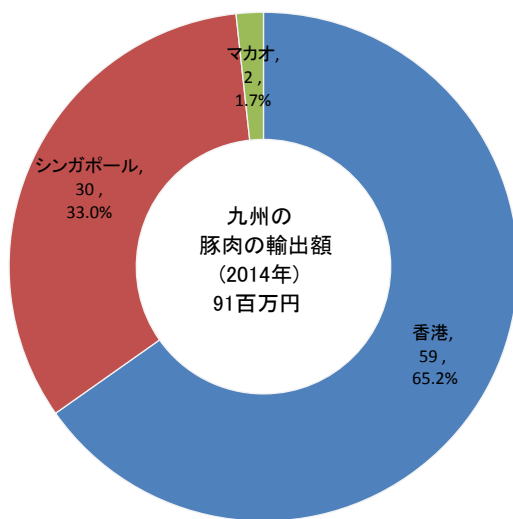
① 野菜・果物等





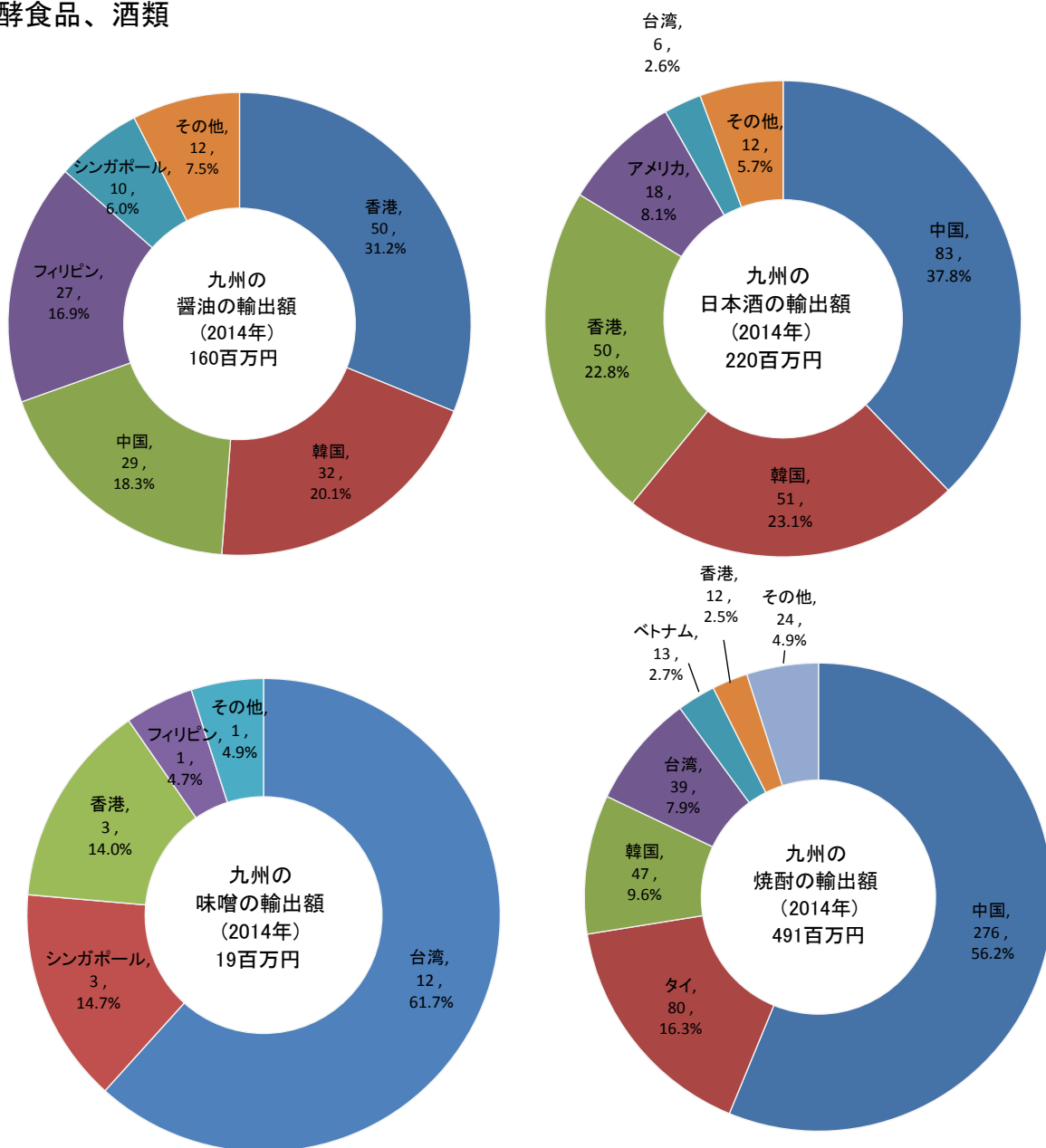
○かんしょ、ストロベリー、トマト等多くの野菜・果物が香港向けに輸出されている。  
 ○みかんの輸出先はカナダが最も多く、緑茶の輸出先はドイツが最も多い。

② 肉類



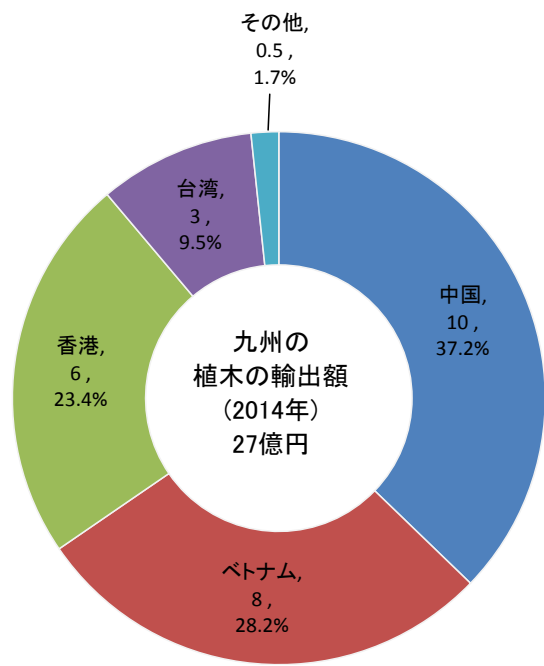
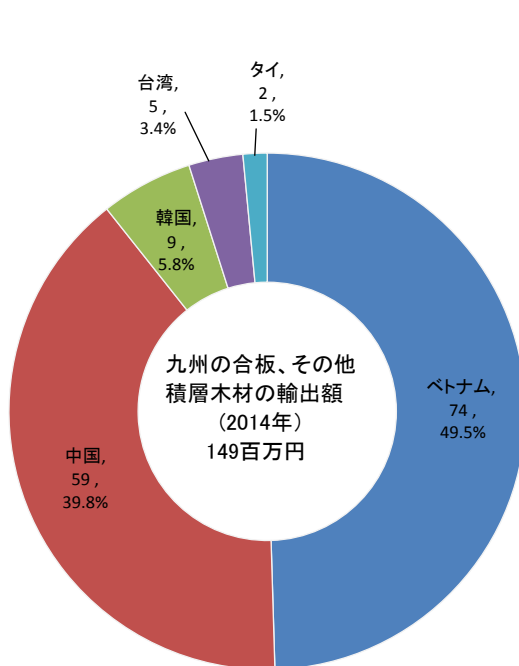
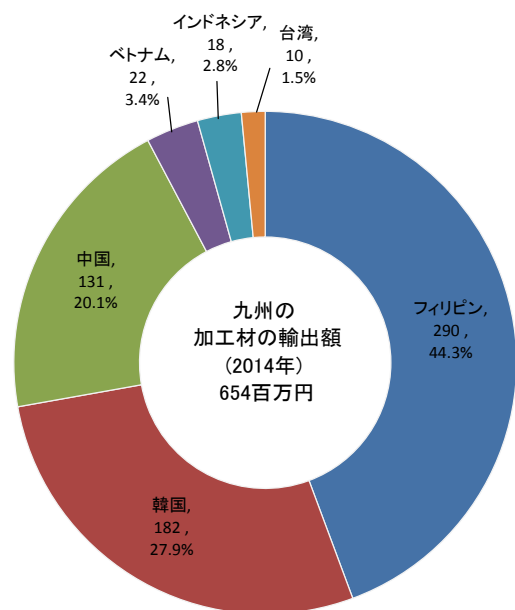
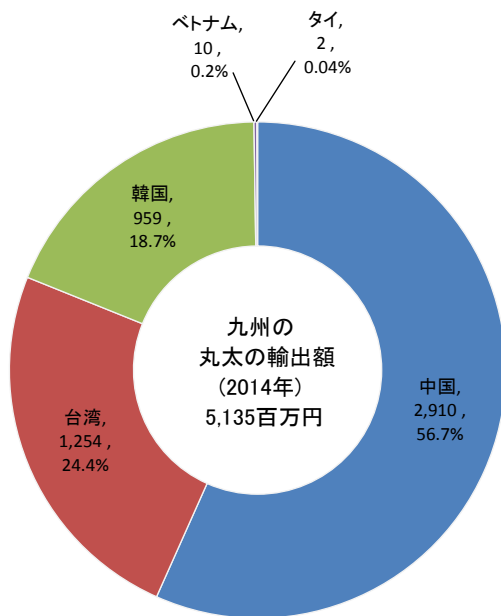
○豚肉、鶏肉及び牛肉の輸出先で最も多いのは、香港である。  
○牛肉については、香港に次いで米国、カンボジア等が多くなっている。

### ③ 発酵食品、酒類



○醤油の輸出先で最も多いのは、香港で、味噌の輸出先では台湾が最も多い。  
○日本酒、焼酎については、中国が最も多くなっている。

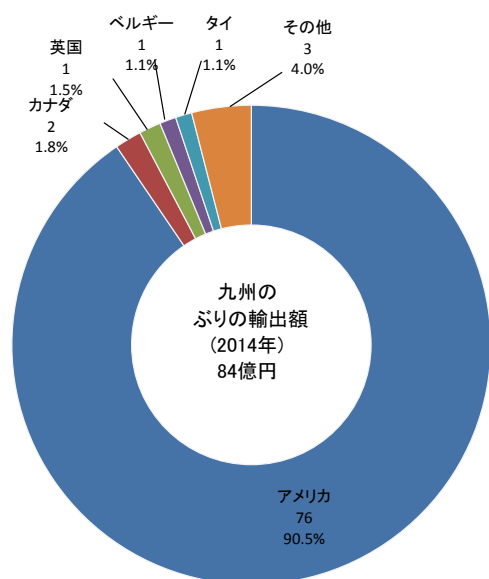
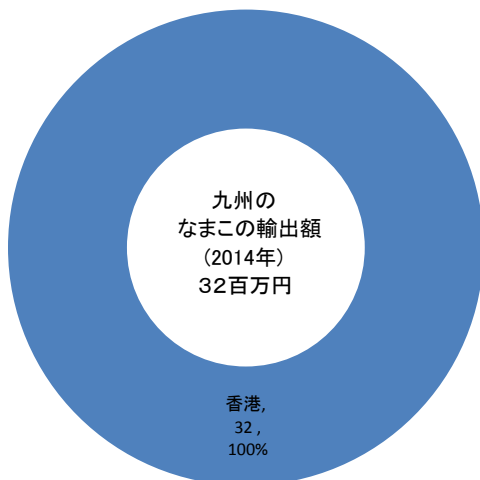
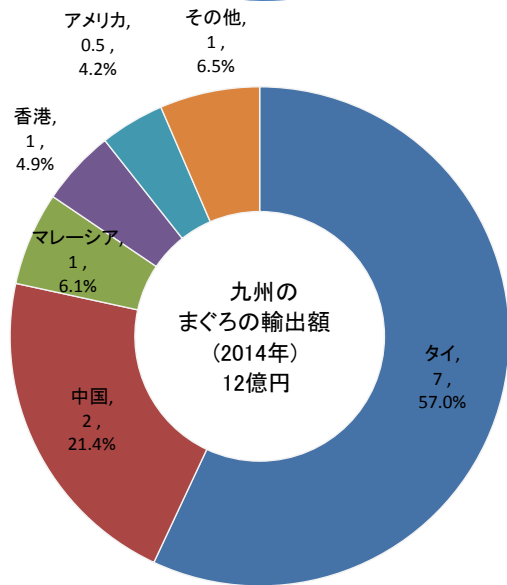
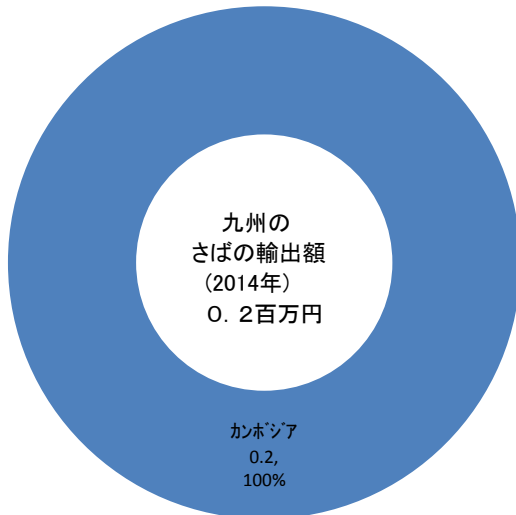
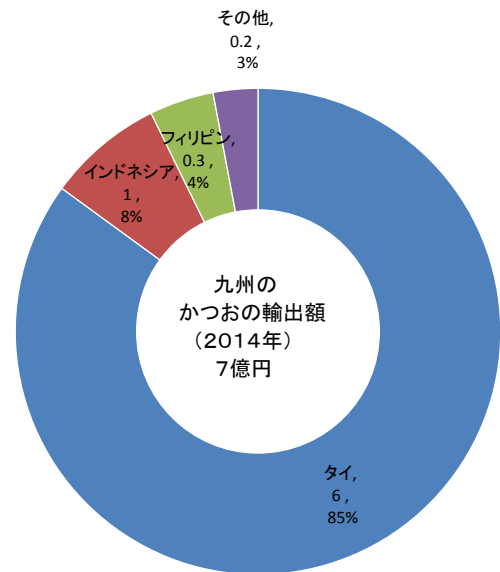
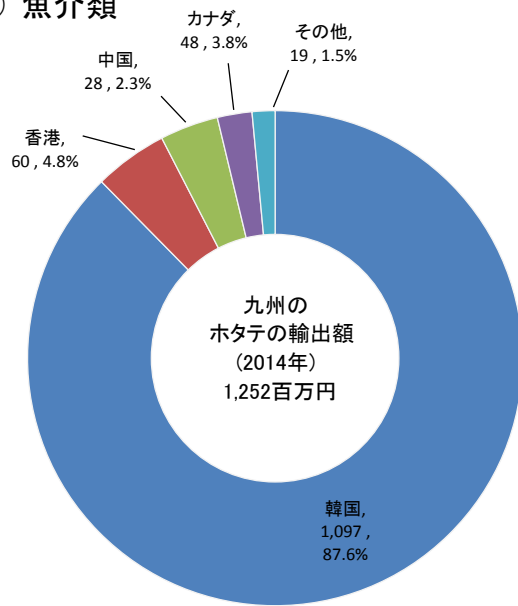
#### ④ 林産物



○丸太及び植木の輸出先で最も多いのは、中国で、加工材の輸出先ではフィリピン、合板等ではベトナムが最も多い。



⑤ 魚介類



図表 3-6-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

○かつお、まぐろの輸出先で最も多いのはタイで、ホタテは韓国、ぶりは米国が最も多い。さばの輸出先はカンボジアで、なまこは香港である。

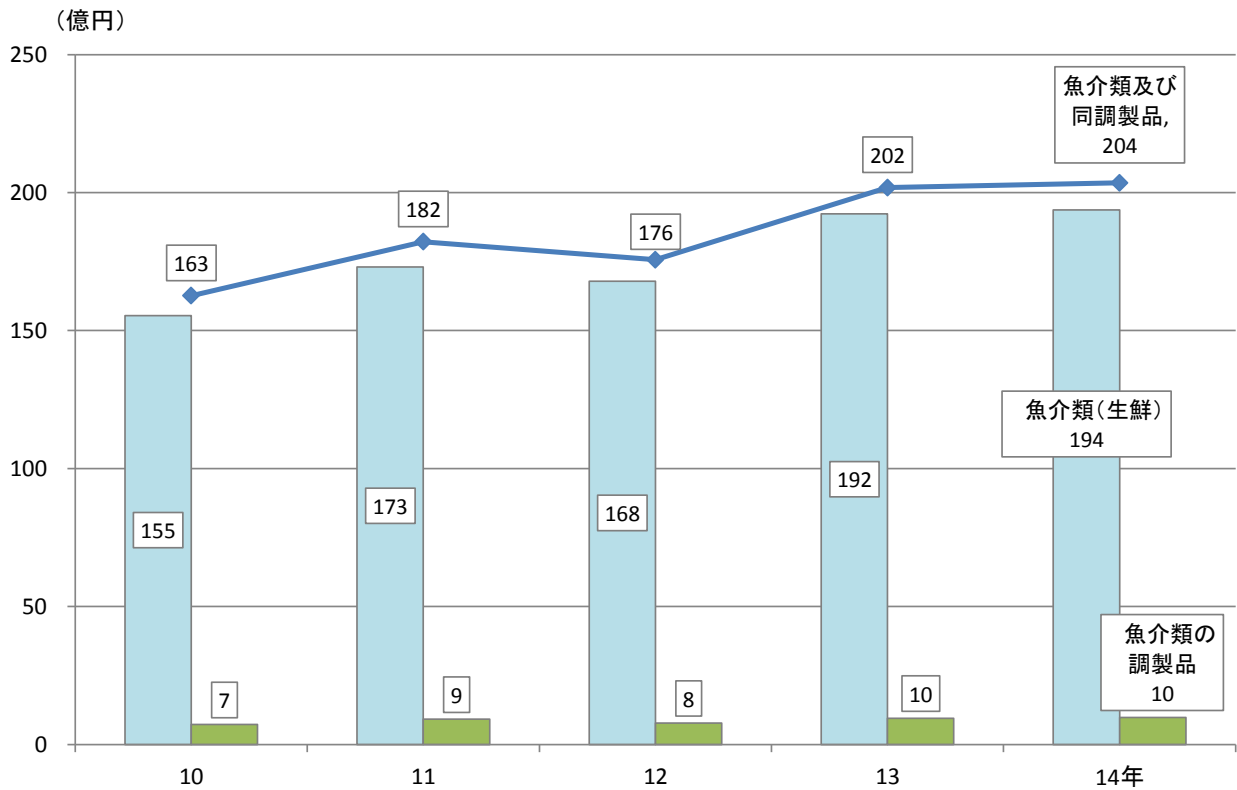
図表 3-6-3 主な農畜産物等の港別・国別輸出額（九州）

単位：千円

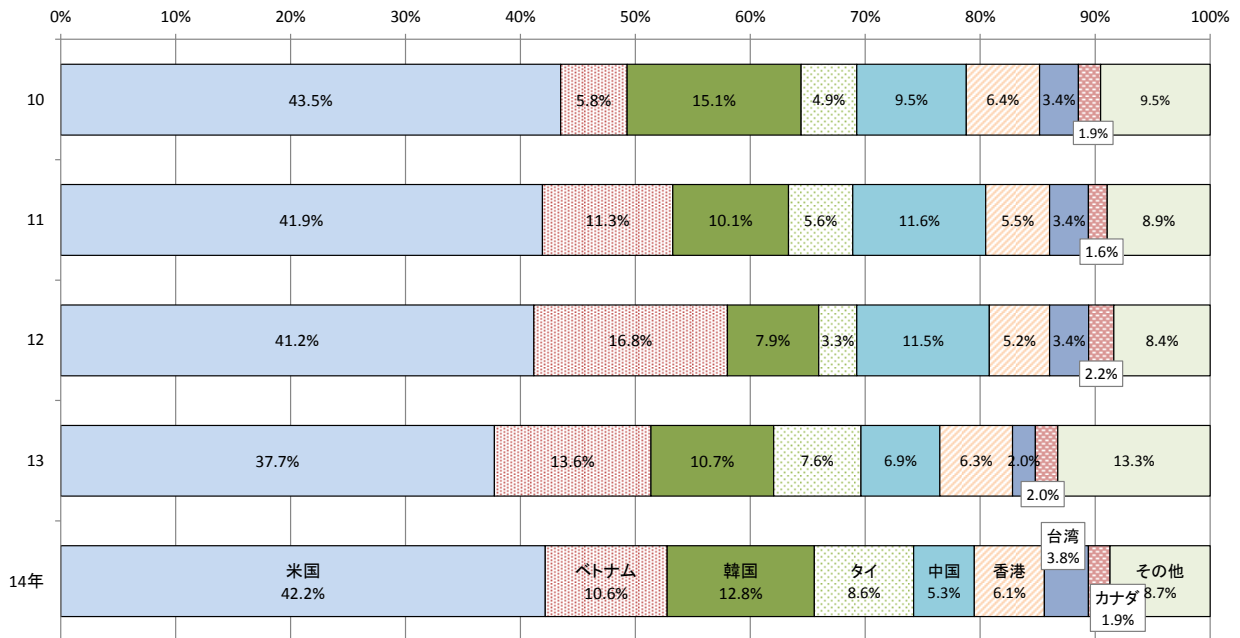
港	輸出先	牛肉	鶏肉	トマト	かんしょ	ながいも	みかん	りんご	ストロベリー	焼酎
伊万里		237,085								
	カンボジア	237,085								
熊本		0					4,745			874
	カンボジア	0								410
	シンガポール	0								235
	マレーシア	0					4,745			
	中華人民共和	0								229
細島		0			752					
	香港	0			752					
志布志		21,228	2,772							57,817
	アメリカ合衆国	1,183								
	ベトナム	0	2,772							
	香港	20,045								
	大韓民国	0								35,840
	中華人民共和	0								21,977
鹿児島空港		26,773								
	アメリカ合衆国	770								
	カナダ	4,101								
	シンガポール	14,897								
	タイ	3,705								
	香港	3,300								
川内		18,537	77,432							13,838
	タイ	4,050								
	香港	14,487	77,432							
	大韓民国	0								6,017
	中華人民共和	0								7,821
博多		108,644	209,222	3,948	168,520	46,126	301,797	62,416	545	150,462
	アメリカ合衆国	0								2,359
	カナダ	0					259,186			
	カンボジア	56,332								
	シンガポール	0			5,806	6,626	7,533	10,317	545	3,435
	タイ	9,907				279				77,011
	ベトナム	0	25,154							847
	マカオ	27,731								
	マレーシア	0					1,139			5,254
	香港	14,674	184,068	3,948	161,817		25,118	52,099		10,927
	台湾	0			897	39,221	8,821			8,896
	大韓民国	0								4,669
	中華人民共和	0								37,064
	福岡空港		1,925,063	7,312	1,052	883		2,509		287,827
アメリカ合衆国		608,258								
イタリア		894								
オランダ		20,696								
カナダ		47,036								
シンガポール		123,467					535		2,366	
スイス		10,446								
スペイン		3,741								
タイ		54,829							4,103	
デンマーク		890								
ドイツ		140,878								
フィリピン		2,132								
フランス		5,553								
ベトナム		6,460								
ベルギー		19,092								
マカオ		126,498								
モナコ		86,562								
英国		35,696								
香港		631,935	7,312	1,052	883		305		280,142	
台湾		0					1,669		1,216	
枕崎		978								
	ミクロネシア	978								
門司		278,504	4,136				2,125			268,196
	インドネシア	0								3,874
	カンボジア	230,698								
	シンガポール	0								1,960
	タイ	0								2,837
	バングラデシュ	27,363								
	フィリピン	0								4,340
	ベトナム	0								12,170
	マカオ	20,443								
	マレーシア	0								2,446
	香港	0	4,136				2,125			1,172
	台湾	0								29,716
	大韓民国	0								666
	中華人民共和	0								209,015
総計		2,616,812	300,874	5,000	170,155	46,126	311,176	62,416	288,372	491,187

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-4 九州の魚介類及び同調製品輸出額の推移



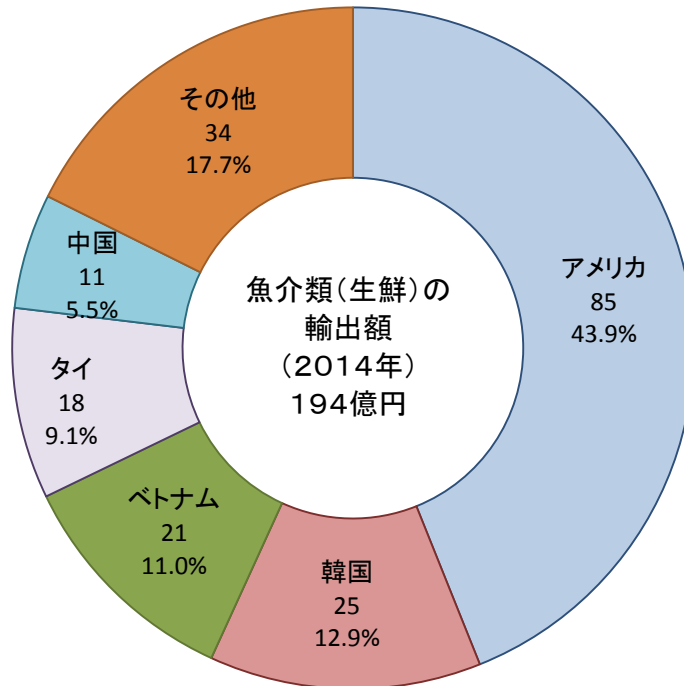
図表 3-6-5 九州の魚介類及び同調製品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-6-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

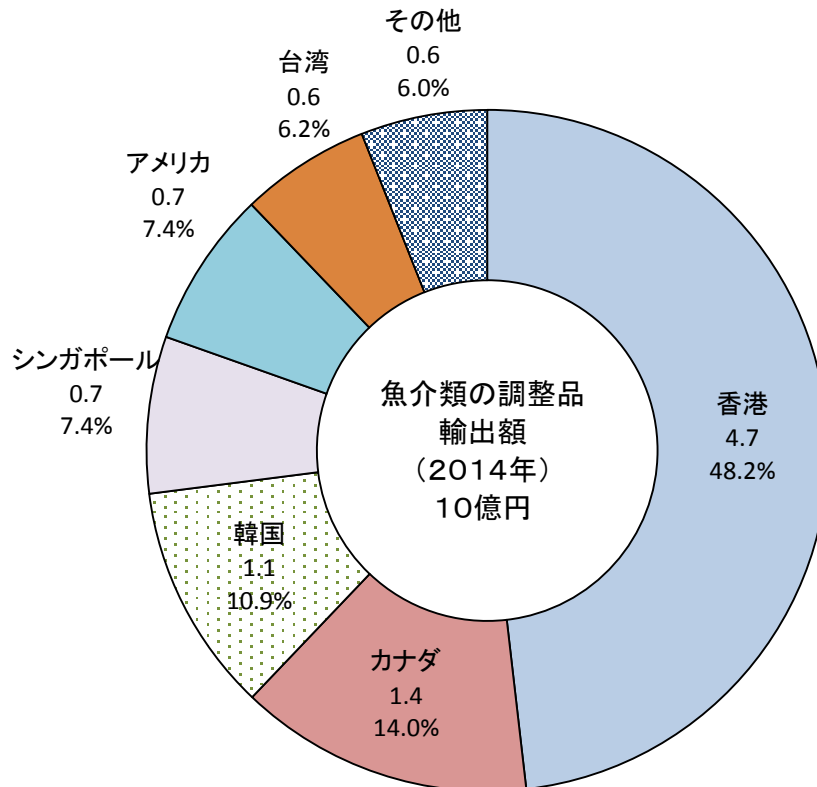
図表 3-6-6 九州の魚介類（生鮮）の輸出相手国・地域

(単位：億円、%)



図表 3-6-7 九州の魚介類の調整品の輸出相手国・地域

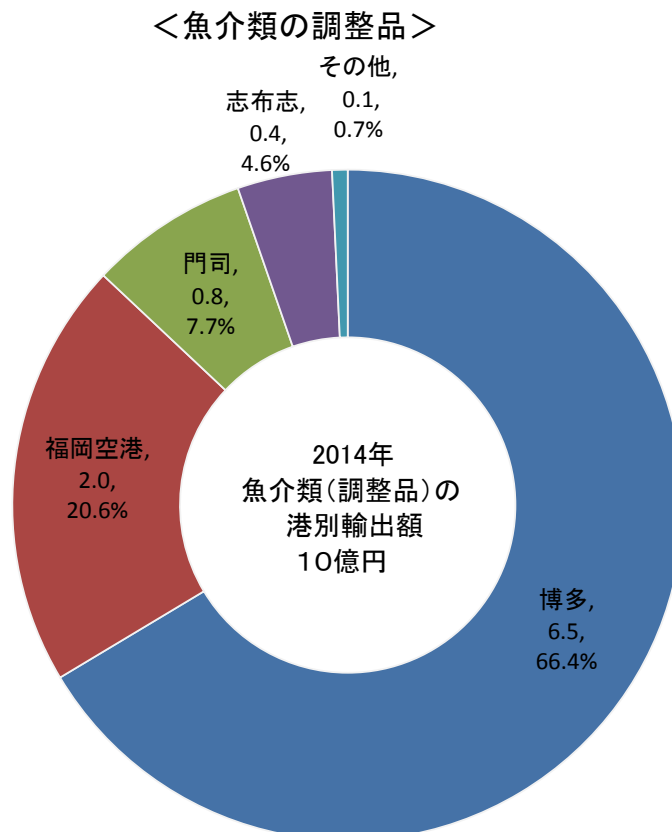
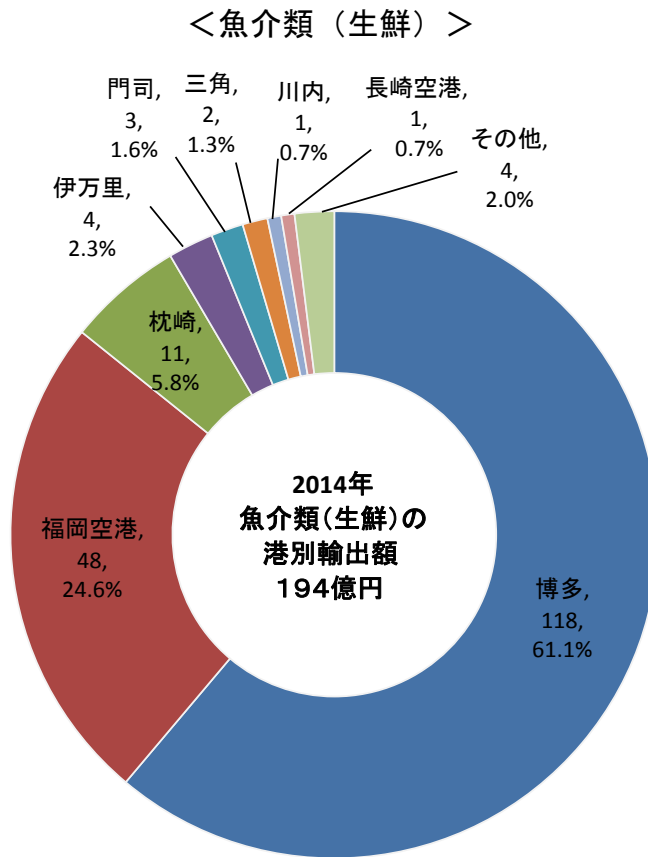
(単位：億円、%)



図表 3-6-6~7 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-8 九州の港別魚介類の輸出額

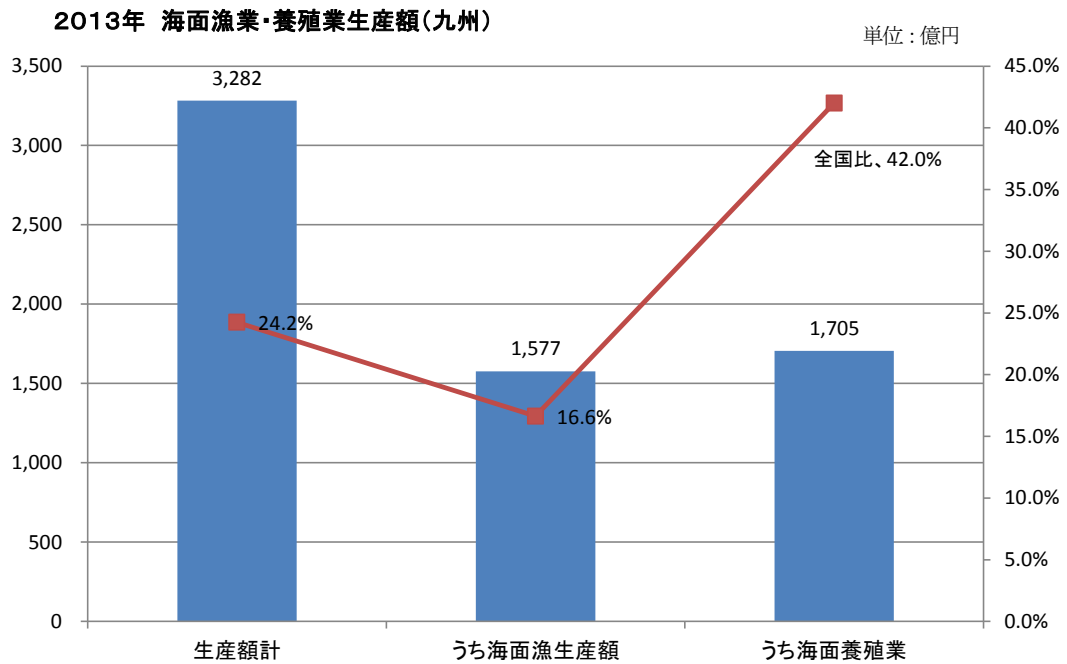
(単位: 億円、%)



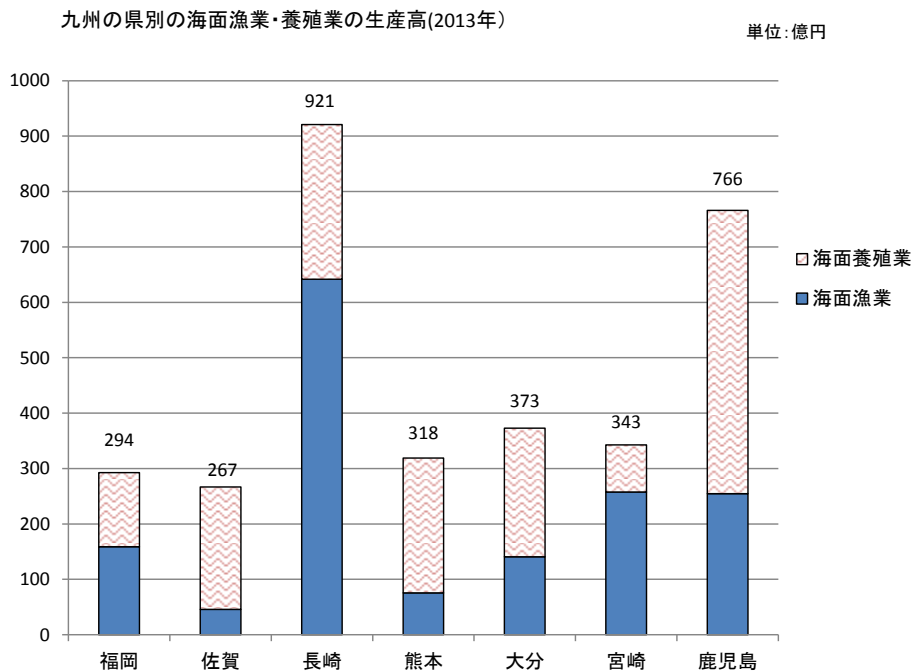
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-9 九州の漁業の生産動向

＜九州の海面漁業・養殖業の生産額と全国比（2013年）＞



＜九州の県別の海面漁業・養殖業の生産額（2013年）＞



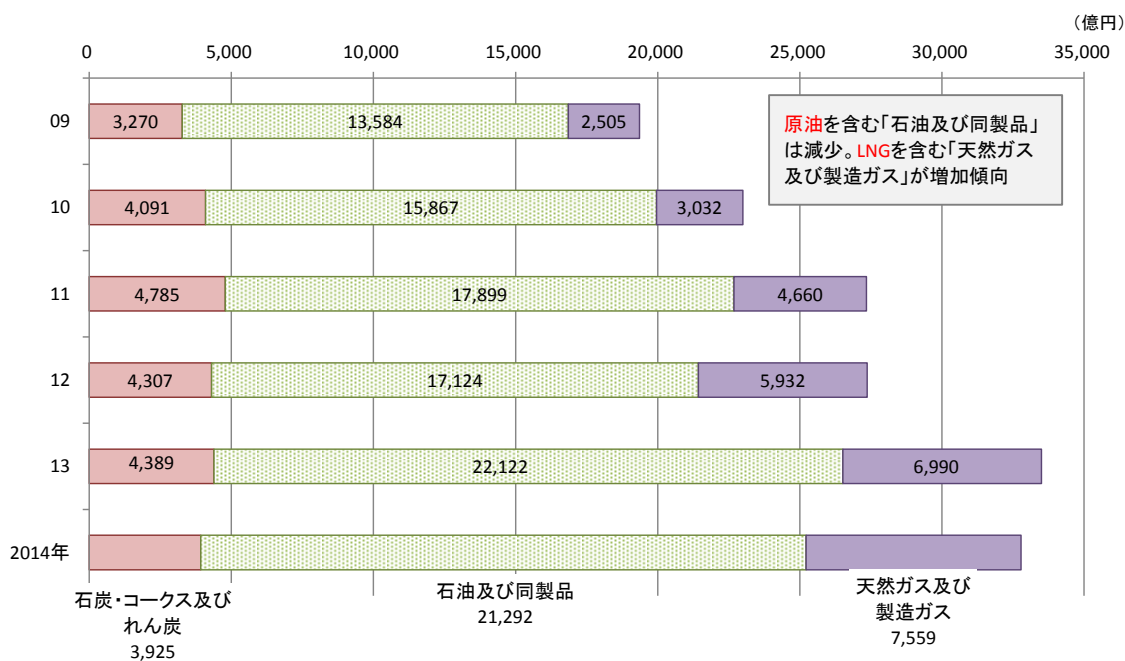
出所：農林水産省「平成25年漁業生産額」より九州経済産業局作成。

## 7. 鉱物性燃料

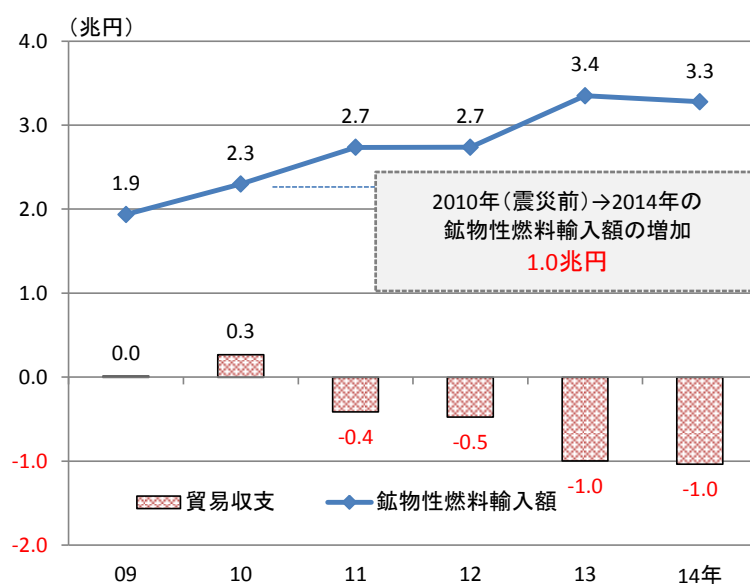
2011年の東日本大震災以降、我が国では火力発電用燃料として鉱物性燃料の需要が増加しており、近年、九州においても鉱物性燃料の輸入額が増加するとともに、貿易収支の赤字幅が拡大していた。

2014年は石炭・コークス及びびれん炭、石油及び同製品の輸入額が減少し、貿易収支額は微減。このような中、天然ガス及び製造ガスは、LNGの輸入価格が北米等で高騰していることに影響され増加した。

図表 3-7-1 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移



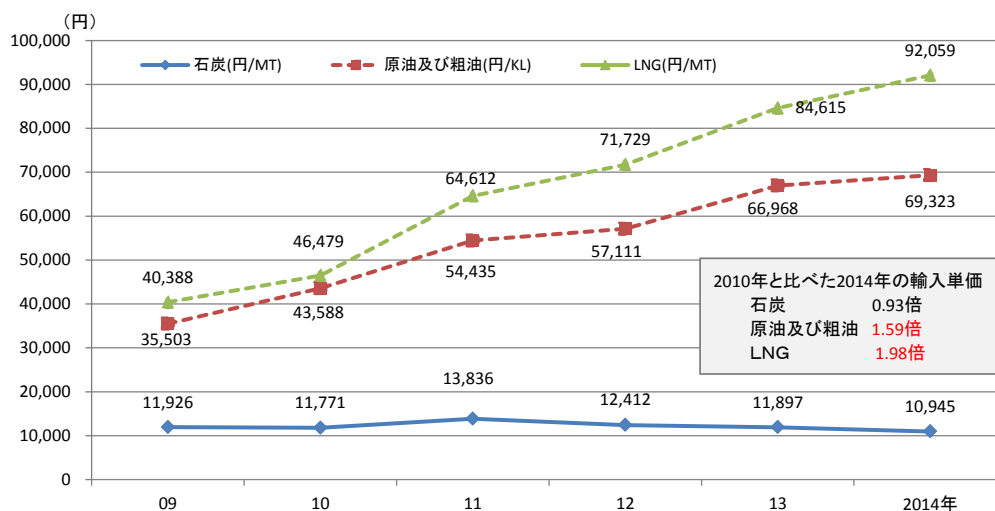
図表 3-7-2 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



近年、鉱物性燃料の輸入額が増加している背景には、輸入量の増加に加えて、原油やLNGの相場の上昇及び円安の進行等により、輸入単価が上昇していることが挙げられる。ただし2014年は輸入量が前年に比べ微減。(石炭：3%減、原油等：8%減、LNG：2%減)

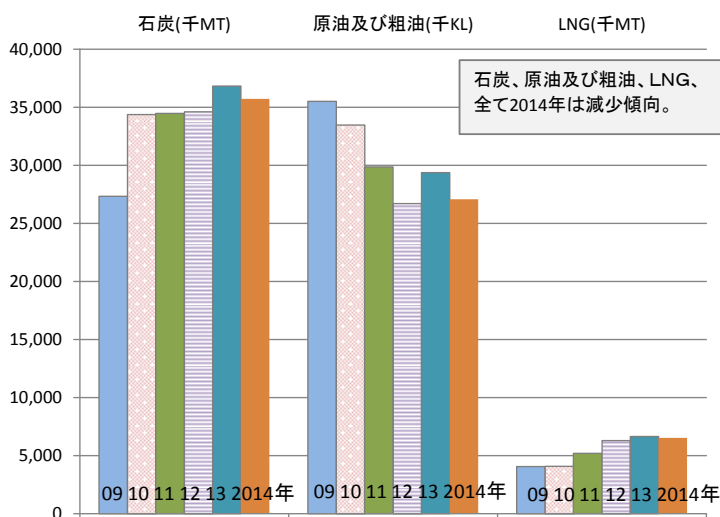
九州は全国と比べて輸入総額に占める鉱物性燃料の割合が高いため、鉱物性燃料の輸入額が貿易収支に与える影響がより大きくなっている。

図表 3-7-3 九州の主な鉱物性燃料の輸入単価

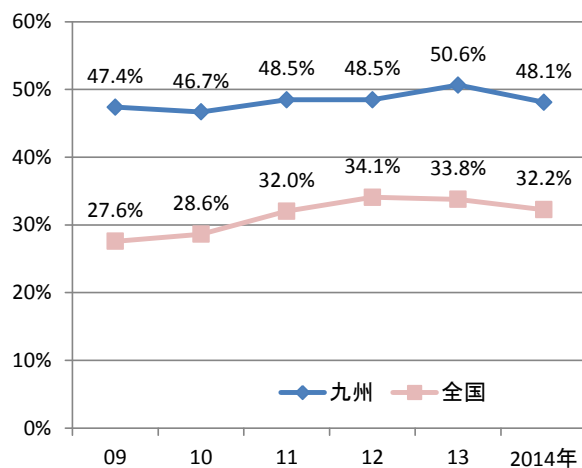


備考:それぞれの輸入単価は各年の輸入金額を輸入数量で割った値。

図表 3-7-4 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



図表 3-7-5 九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合



図表 3-7-1~5 出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。